

立川市の小学校 19 校、中学校 9 校において GIGA スクール構想にて配備されたタブレット端末を活用した授業の実践事例集です。

令和 3 年度 立川市公立学校 ICT 実践事例集



目次

ページ	学校名	学年	教科	単元
01	第一小学校	4年	音楽	いろいろなリズムを感じ取る
02	第一小学校	4年	算数	角の大きさ
03	第二小学校	5年	体育	表現運動
04	第二小学校	2年	音楽	くりかえしを見つけよう
05	第三小学校	1年	国語	やくそく
06	第三小学校	1年	体育	体づくり運動遊び
07	第三小学校	3年	理科	植物を育てよう・花を咲かせた後
08	第三小学校	3年	算数	かけ算の筆算
09	第四小学校	6年	理科	電機の利用
10	第四小学校	6年	総合的な学習の時間	発見！伝え合い！日光の魅力
11	第五小学校	5・6年	体育	マット運動
12	第五小学校	1年	国語	くじらぐも
13	第五小学校	5年	外国語	Unit 6: I want to go to Italy
14	第六小学校	5年	体育	陸上運動 「走り幅跳び」
15	第六小学校	3年	社会	わたしたちのまち
16	第七小学校	5年	算数	合同な図形
17	第七小学校	1年	生活科	わたしのあさがお
18	第八小学校	4年	理科	季節と生き物
19	第八小学校	6年	理科	てこのはたらき
20	第九小学校	5年	理科	流れる水と土地 川と災害
21	第九小学校	2年	国語	そうだんにのってください
22	第十小学校	3年	学級活動	当番リクエストをしよう
23	第十小学校	3年	社会	わたしたちのくらしと商店の仕事
24	西砂小学校	3年	総合的な学習の時間	障害のある人と交流しよう
25	西砂小学校	3年	理科	花をさかせたあと
26	南砂小学校	3年	国語	山小屋で三日間すごすなら
27	南砂小学校	4年	総合的な学習の時間	地域安全マップを作ろう
28	南砂小学校	5年	社会	未来を支える食料生産
29	南砂小学校	6年	総合的な学習の時間	SDGsについて調べよう
30	南砂小学校	2年	音楽	くりかえしをみつけよう 『おまつりの音楽』
31	幸小学校	3年	社会	わたしたちのくらしとスーパーマーケット
32	幸小学校		算数	合同
33	松中小学校	5年	算数	少数のわり算
34	松中小学校	6年	国語	時計の時間と心の時間
35	大山小学校	1年	国語	ことばをみつけよう
36	大山小学校	2年	生活	ちいごとつなぐわたしたちのやさいばたけ
37	大山小学校	4年	国語	ごんぎつね

38	大山小学校	5年	算数	図形の角
39	柏小学校	1年	生活科	わたしのあさがお
40	柏小学校	2年	図画工作	ミリーのすてきなぼうし
41	柏小学校	3年	社会	わたしたちのくらしと商店の仕事
42	柏小学校	4年	理科	季節と生き物
43	柏小学校	5年	外国語	Unit3: What subject do you have?
44	柏小学校	6年	社会	幕府の政治と人々の暮らし
45	柏小学校	4~6年	音楽	曲想の変化を感じ取る
46	上砂川小学校	3年	算数	大きい数のわり算
47	上砂川小学校	6年	特別の教科 道徳	修学旅行の夜
48	新生小学校	4年	総合的な学習の時間	多摩川探検隊
49	新生小学校	6年	特別の教科 道徳	田中正造(公正、公平)
50	若葉台小学校	5年	国語	グラフや表を用いて書こう
51	若葉台小学校	6年	算数	データの特ちょうを調べて判断しよう
52	立川第一中学校	3年	社会	第二次世界大戦
53	立川第一中学校	2年	総合的な学習の時間	鎌倉校外学習(事後学習)
54	立川第二中学校	2,3年	社会	日本地理
55	立川第二中学校	2年	社会	安土桃山時代
56	立川第二中学校	3年	外国語(英語)	テスト前の復習
57	立川第三中学校			図書委員会
58	立川第三中学校	3年	技術・家庭(技術分野)	ワンスピーカダイナモラジオの製作
59	立川第四中学校	3年	社会	現代社会の見方や考え方
60	立川第四中学校	2年	国語	類義語・対義語・多義語
61	立川第五中学校	3年	理科	地球と宇宙
62	立川第五中学校	1年	技術・家庭(技術分野)	木材加工
63	立川第五中学校	1年		「日本語指導を必要とする子女」の指導に係るICT活用
64	立川第五中学校	2年	国語	言葉の力
65	立川第五中学校	2年	社会	年間を通しての使用
66	立川第六中学校	2年	数学	第4章 平行と合同
67	立川第六中学校	2年	総合的な学習の時間	校外学習
68	立川第七中学校	3年	理科	生命の連続性
69	立川第七中学校	2年	理科	化学変化と原子分子
70	立川第八中学校	2年	数学	一次関数
71	立川第八中学校	全学年	保健体育	ダンス(八中ソーラン)
72	立川第九中学校	3年	理科	水溶液とイオン
73	立川第九中学校	1年	技術・家庭(技術分野)	材料と加工の技術

◆教科名・単元名・学年・使用台数

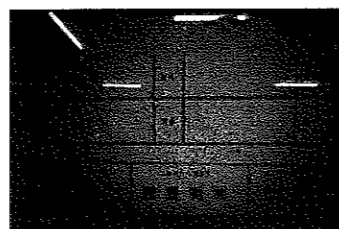
教科 : 音楽
 単元 : いろいろなリズムを感じ取ろう
 学年(学級) : 4年生(3~6年)
 使用台数 : 1人1台

◆授業内で使用した ICT ツール

ツール名 (カメラ機能、Google classroom など)	Google classroom、Google Jamboard
活用方法 (例)カメラの動画撮影機能を用いて、体育のマット運動の様子を撮影し、振り返りの際にグループで見直した。	Jamboard で配布資料を作成して、classroom にて配布して一人一人が自由に楽譜を作成できるようにした。

◆授業の実際

ICT 使用のねらい	Jamboard を使用して、自分で作った楽譜をクラスのみならず共有することで、自分の考えと友達の考えの良さや違いがわかるために使用した。また、音符を書いたりするのが苦手な児童も簡単に取組めるように、音符を自由に動かせるようにした。
必要な準備	使用道具 : Chromebook、大型テレビ、HDMI ケーブル、変換端子 準備 : Jamboard による資料の作成 Shift キーを押しながら線を引くと直線が引ける 画像挿入で教科書会社の HP から無料ダウンロードできる音符を張り付ける。 画像挿入方法 Jamboard の左側にある画像挿入から URL リンク先を張り付ける。もしくは、タブを2つ開き2画面にして片方にある画像をドロップ&ペーストして張り付ける。(他の教科でも活用できる)
具体的な学習活動	○本時の課題 : 自分でポディーパーカッションの楽譜を作成しよう ○音符の長さについて確認をしよう。 ・1小節は4拍で構成されていることを説明する ・左にある音符は1つの塊で1拍、右にある音符は1つで1/2拍 ○実際に音符を動かして楽譜を作成してみよう ・画像をタッチしてコピーすると同じ画像が増える ・間違えてしまったときは右上の×ボタンではなく元に戻るをおす ・元に戻るでも戻りきらないときは右上の…マークにある変更履歴を押して児童が戻りたい時まで戻す ○できた楽譜をみんなで共有しよう ・大型テレビに児童が作成した Jamboard を映し出す (児童の Chromebook に直接テレビをつなぐ、もしくは、クラスルームで提出してもらい教員のクロームブックから大型テレビに映し出す) ○実際にみんなで作ったリズムを叩いてみよう ・ポディーパーカッションなので音楽室ではなくクラスでもやることのできる ・音楽室に机がない場合は落下を考えてクラスでやることをお勧めする
ICT を使用した効果	Chromebook を使うことにより、音符を書くのが苦手な児童も進んで取り組むことができた。間違えても消しゴムで消したりせずにボタン一つで気軽にできることも魅力の一つである。自分の作った楽譜と友達の作った楽譜をすぐに比べたり、席を変えながら友達が作った楽譜をやってみたりすることで自分の考えが深まり、他の友達の作った楽譜の良いところを自分も取り入れることができる。実践したクラスの全員が取り組んで提出することができた。 専科の授業で ICT 活用に率先して取り組むことで、各学級の ICT のスキルの状態を把握、向上させることができ、他の授業での活用に結び付いた。



◆教科名・単元名・学年・使用台数

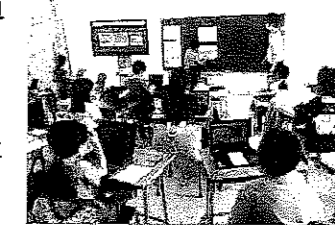
教科 : 算数
 単元 : 角の大きさ
 学年(学級) : 4年生
 使用台数 : 1人1台

◆授業内で使用した ICT ツール

ツール名 (カメラ機能、Google classroom など)	まなびポケット schoolTakt
活用方法 (例)カメラの動画撮影機能を用いて、体育のマット運動の様子を撮影し、振り返りの際にグループで見直した。	カメラでワークシートを撮影し、それを schoolTakt の機能を使い、アップロードし、児童が全員の考えを見られるようにした。

◆授業の実際

ICT 使用のねらい	schoolTakt を使用してワークシートを共有し、全員の考えを見られるようにすることで、自分の考えと友達の考えを比較し、同じところや違うところを考えさせるために使用した。
必要な準備	Chromebook、大型テレビ、HDMIケーブル、変換端子
具体的な学習活動	○本時の課題を確認する。 ○解決の仕方を考える。 ・ワークシートに「あ」の角の大きさの測り方を書きこむ。書けたらワークシートの写真を撮り、schoolTakt 上にアップロードする。 ○それぞれの考えを仲間分けする。 ・大まかに、180°を基にして考えるやり方と360°を基にして考えるやり方に分け、schoolTakt の自分の考えのところに色の丸印を付けさせる。(180°を基にしているものは赤丸印、360°を基にしているものは青丸印、その他の考えは黄色丸印) ○3人グループで話し合う。 ・schoolTakt にアップロードされたワークシートを見ながら、2通りの考え方について説明ができるように話し合う。 ○全体で主な2種類の求め方について説明をする。 ○今日の学習で分かったことをワークシートに書いて学習内容をまとめる。
ICT を使用した効果	本時では、180度を超える角の測定の仕方を考えた。いくつかの測定の方法が考えられるが、それらを共有する際に「schoolTakt」を用いる。「schoolTakt」は直感的な操作で、ICT機器を操作するのが苦手な児童でも自分の考えを表すことができる。教師はいつでも児童の進捗状況を把握することができ、児童の考えを全体に提示することができる。また、「共同閲覧モード」を使用することによって友達同士で考えを見ることができ、「自分と同じ考えの人はいるか」「ほかの友達はどうのように考えているか」がすぐに分かる。また、コメントをつけることもできるので、「同じ考えだったよ。」「その考えは思いつかなかったな。」などのコメントを残すことができ、学習を深められると考える。この機能を用いて児童同士が対話しながら自分の考えを友達と共有できるようにしていく。



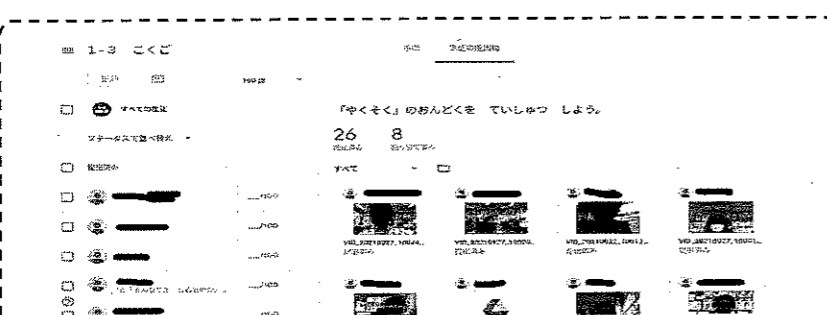
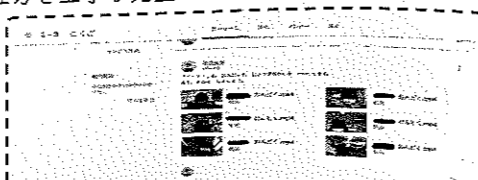
◆教科名・単元名・学年・使用台数

教科 : 国語
 単元 : やくそく
 学年(学級) : 第1学年
 使用台数 : 1人1台

◆授業内で使用した ICT ツール

ツール名 (カメラ機能、Google classroom など)	Google classroom、動画撮影機能
活用方法 (例)カメラの動画撮影機能を用いて、体育のマット運動の様子を撮影し、振り返りの際にグループで見直した。	児童は、Chromebook の動画撮影機能を使い、音読を撮影する。その動画を教師に Google classroom を用いて提出する。 教師は、提出された動画を確認し、1人ずつコメントを行う。その後、上手な児童を何名か全体の掲示板に投稿し、称賛する。

◆授業の実際

ICT 使用のねらい	【目標】会話に気を付けながら、音読を工夫しよう。 【教師のねらい】上手な音読をした動画を掲載し、児童が閲覧できるようにする。
必要な準備	【道具】 Chromebook、教科書 【必要な技能】 動画を撮影の仕方・手順、動画を投稿する手順
具体的な学習活動	1, 全体で音読する。 2, 全体で、音読の工夫できるポイントを確認する。 3, 学んだことをもとに、青虫の気持ちを確かめる。 4, 音読の練習をする。 5, 上手な児童を何人か発表させ、工夫の仕方を共有する。 6, 動画で音読を撮影し、提出させる。 ○児童は、動画撮影モードにし、その前で音読を始める。 ○事前に、声が小さい児童は声が聞こえなくなることを伝えて撮影。 ○各自の進捗状況で動画を撮影していく。 7, 授業後、上手な音読をした動画を掲載し、児童が閲覧できるようにする。 
ICT を使用した効果	○ICT を活用することで、児童がより良い音読にしようとしていた。 ○教師が、個別に音読をチェックすることができ、個別の支援が進んだ。 ○個々に音読のフィードバックを返すことができた。 ○次の「くじらぐも」の授業での音読の際、工夫の仕方を上手な児童の動画をもとに確認することができた。 

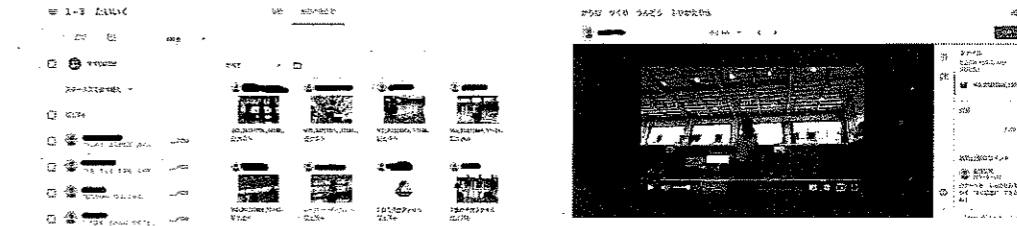
◆教科名・単元名・学年・使用台数

教科 : 体育
 単元 : 体づくり運動遊び
 学年(学級) : 第1学年
 使用台数 : 1人1台

◆授業内で使用した ICT ツール

ツール名 (カメラ機能、Google classroom など)	Google classroom、動画撮影機能
活用方法 (例)カメラの動画撮影機能を用いて、体育のマット運動の様子を撮影し、振り返りの際にグループで見直した。	児童は、Chromebook の動画撮影機能を使い、発見した動きを撮影する。その動画を教師に Google classroom を用いて提出する。 教師は、提出された動画を確認し、1人ずつコメントを行う。その後、上手な児童を何名か全体の掲示板に投稿し、称賛する。

◆授業の実際

ICT 使用のねらい	【目標】ボールを使った運動遊びで、工夫した動きを発見しよう。 【教師のねらい】個別に児童を評価する。良い動きの児童を称賛するとともに、全体にいつでも共有できるようにする。
必要な準備	【道具】 Chromebook、ボール 【必要な技能】 動画を撮影の仕方・手順、動画を投稿する手順
具体的な学習活動	1, めあてを確認する。 2, 準備運動をする。 3, 「じゃんけんすごろく」で体を移動する運動遊び、体のバランスをとる運動遊び、力試しの運動遊びを行う。 4, 前時のボール遊びで出てきた遊び方を、教師が投稿した動きとともに紹介する。 ○この際、前時で出てきた良い動きを教師が選び、classroom に投稿しておく。 ○児童は、好きな時に classroom から友達の動きを見て、真似する。 5, 「ボールを投げる取る」「ボールを運ぶ」など発見した動きをもとに遊ぶ。 6, 全体で振り返りをし、個別の振り返りの仕方を確認する。 7, 個別に発見した動きを動画で撮影する。 ○見つけた動きのコツを話した後、実際に見つけた動きを行って動画撮影をする。 ○児童が提出した動画を教師がフィードバックし、全体に良い動きを共有できるように、classroom に投稿する。 
ICT を使用した効果	○前時の良い動きを動画で全体で共有することで、何度も、スローモーションで確認することができた。 ○遊んでいる最中も、児童が自分で何度も友達の動きの動画を確認することができた。 ○振り返りの際、コツを話させることで、思考力の充実が図れた。 ○1年生の児童にとって、話して振り返ることは、書くことにはできないたくさんの気付きを振り返ることができた。(動きて伝えたり、オノマトペで伝えたりする姿が見られた。) ○次時で共有した動画は、話し方と動き方が撮られていることから、振り返りの仕方にも、動き方にもマネできることが多く、よい振り返りをどの場面でも何度も活用することができた。

◆教科名・単元名・学年・使用台数

教科 : 理科
 単元 : 植物を育てよう・花を咲かせた後
 学年(学級) : 第3学年
 使用台数 : 1人1台

◆授業内で使用した ICT ツール

ツール名 (カメラ機能、Google classroom など)	Jamboard カメラ機能 スプレッドシート
活用方法 (例)カメラの動画撮影機能を用いて、体育のマット運動の様子を撮影し、振り返りの際にグループで見直した。	カメラでハウセンカ・マリーゴールド・ひまわりの成長を撮影する。(毎週曜日固定) その写真を jamboard で背景に設定し、付箋機能で気付きをメモしておき観察カードとして活用する。 スプレッドシートで草丈の表・グラフを記録する。 各植物の同じところ・違うところを jamboard を用いて話し合う。

◆授業の実際

ICT 使用のねらい	<p>【目標】植物の育ち方についてまとめよう。</p> <p>【教師のねらい】</p> <p>①観察カード・グラフの作成を通して、成長の過程を押さえる。</p> <p>②植物の共通点・差異点について話し合う際、可視化し仲間分けをする。</p>
必要な準備	<p>【道具】</p> <p>Google chromebook</p> <p>【必要な技能】</p> <p>キーボード入力・カメラ撮影</p>
具体的な学習活動	<p>1 学期から継続的に観察カード・スプレッドシートの作成を行う。本時はそれを見ながら行う授業</p> <p>1. 本時のめあてを知る。</p> <p>自分たちの育てた植物の育ち方についてまとめよう。</p> <p>2. ハウセンカと選択した植物の同じところ・違うところについて個人で考える。</p> <p>3. 各班、選択した植物についてスライドの観察カードを見て、育ち方を確認しながらハウセンカと選択した植物の共通点、差異点について、班で交流する。</p> <p>4. 班で交流した共通点、差異点を発表する。</p> <p>5. 植物の成長についてまとめる。</p>
ICT を使用した効果	<p>・観察の記録がポートフォリオとして、保存できる。</p> <p>・スケッチではなく、写真にすることで絵が苦手な子ども、取り組みやすい。また、写真に直接書き込めるので分かりやすく仕上がる。</p> <p>・考えが視覚化されるので話し合いが加速する。</p>

◆教科名・単元名・学年・使用台数

教科 : 算数
 単元 : かけ算の筆算
 学年(学級) : 第3学年
 使用台数 : 1人1台

◆授業内で使用した ICT ツール

ツール名 (カメラ機能、Google classroom など)	スクールタクト
活用方法 (例)カメラの動画撮影機能を用いて、体育のマット運動の様子を撮影し、振り返りの際にグループで見直した。	スクールタクトを活用し、23×3の計算の仕方について具体物进行操作しながら計算方法を考えた。

◆授業の実際

ICT 使用のねらい	<p>【目標】23×3の計算の仕方を考えよう</p> <p>【教師のねらい】</p> <p>①具体物进行操作させる。</p> <p>②全員の考えを一律で把握し、即時に共有する。</p>
必要な準備	<p>【道具】</p> <p>Google chromebook・教科書・ノート</p> <p>【必要な技能】</p> <p>特になし</p>
具体的な学習活動	<p>1. 問題場面を把握する。</p> <p>2. 本時のめあてを知る。</p> <p>23×3の計算のしかたを考えよう。</p> <p>3. 23×3を図に表す。</p> <p>4. 表した図を10のまとまりとバラ(1のまとまり)に分ける。</p> <p>5. 表した図を10のまとまりとバラ(1のまとまり)に分ける。</p> <p>6. アレイ図を基に、式変形して、求める。</p> <p>7. 本時のまとめをする。</p>
ICT を使用した効果	<p>・全員の具体物を手軽に用意できる。</p> <p>・友達の考えを見ることができる。</p> <p>・教師も画面を通して全員の状況を把握できる。</p> <p>・ロック機能を使って、活動を止めることもできる。</p>

◆教科名・単元名・学年・使用台数

教科 : 理科
 単元 : 電気の利用
 学年(学級): 6年
 使用台数 : 1人1台

◆授業内で使用した ICT ツール

ツール名 (カメラ機能、Google classroom など)	Google micr:bit
活用方法 (例)カメラの動画撮影機能を用いて、 体育のマット運動の様子を撮影し、振 返りの際にグループで見直した。	Googleで「マイクロビット メイクコード」を検索して、 マイクロビットと同期し、プログラミングをする。

◆授業の実際

ICT 使用のねらい	学んだことをもとに、電気の利用をコントロールしているセンサーについて調べようとしていたり、プログラムを作成してコンピューターに命令を出させようとしていたりする活動を経験する。
必要な準備	・マイクロビット (2~3人のグループで1つ) ・1人1台のタブレット PC
具体的な学習活動	①電気の利用をコントロールしているセンサーが身の回りであることを知る。 ②センサーは、プログラミングされることで反応していることを知る。 ③実際にプログラムを作成して、マイクロビットを命令通りに反応させる。 ④友達が作成したプログラムを見て、感想を交流し合う。
ICT を使用した効果	自分が作成したプログラムが思った通りに動くのを見て、プログラミングに興味をもつ児童が多くいた。身の回りに使われているセンサーなどに対しても関心を高めていた。


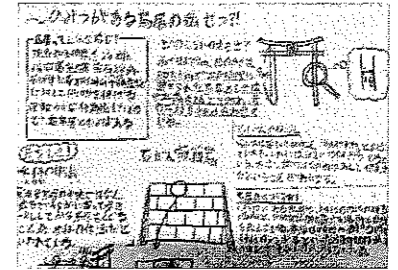
◆教科名・単元名・学年・使用台数

教科 : 総合的な学習の時間
 単元 : 発見!伝え合い!日光の魅力
 学年(学級): 6年1組・2組
 使用台数 : (1人1台や、グループでの使用など) 1人1台使用

◆授業内で使用した ICT ツール

ツール名 (カメラ機能、Google classroom など)	Chromebook Google classroom
活用方法	classroomのストリーム上に調べ学習で使う資料を載せ、調べ学習を行った。また、完成した作品を載せ、学び合いを行った。

◆授業の実際

ICT 使用のねらい	ICTを活用することで、スムーズに学習を進めることができ、交流の場を長く取ることができるなど、対話的で深い学びを進められるようにするため。
必要な準備	・classroomの作成 (移動教室に向けた学年での取り組みのため、6学年のクラスルームを作成した。) ・資料の選定・スキャンし、classroomに投稿 (PDF化したものを、種類ごとに分けて投稿した。)
具体的な学習活動	・日光の魅力が伝わるガイドブックを作る際に、classroomに載せた資料を使って調べ学習を行った。  (クラスルーム→) ・完成した作品をストリーム上に載せることで、友達の作品から見出しの付け方やまとめ方などレイアウトを学ぶことができた。  ・ガイドブックを作成し、グループで共有した。 (調べ学習がスムーズに行えたため、共有の時間を長くとることができた。) (共有場面→)
ICT を使用した効果	・効率よく学習に取り組むことができた 事前にclassroomに調べ学習で使う資料を載せておくことで、プリントを配布する必要がなくなり、班で分担後、すぐに学習に取り組むことができた。また、1人1台タブレット PCを持っているため、授業開始と共に学習に取り組むことができ、時間を有効活用することができた。その結果、調べたものをまとめる時間や共有することに時間を使うことができ、よりよいパンフレットを作ることができた。 ・共有しやすくなったことで、学び合いの機会が増えた ストリーム上に友達の作品を載せることで、お互いに参考にすることができ、学び合いながら学習を進めることができた。また、共有したことを、後からでも簡単に振り返ることができるため、自分のペースに合わせて進めることができた。

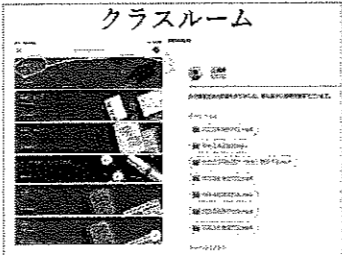

◆教科名・単元名・学年・使用台数

教科 : 体育
 単元 : マット運動
 学年(学級) : 5年・6年
 使用台数 : (個別練習1人1台・グループ練習3人1台)

◆授業内で使用した ICT ツール

ツール名 (カメラ機能、Google classroomなど)	カメラ機能、Google classroom
活用方法 (例)カメラの動画撮影機能を用いて、体育のマット運動の様子を撮影し、振り返りの際にグループで見直した。	カメラの動画撮影機能を用いて、体育のマット運動の様子を撮影し、技能ポイントを確認する。 Google classroom から自身のできそうな技の手本動画を選択し、技能ポイントの確認や動作比較をする。

◆授業の実際

ICT 使用のねらい	動画から技能のポイントを確認し、教え合い活動を活発にする。 指導したことをいつでも復習することができるようにする。 教師がより多くの児童に個別指導ができるようにする。
必要な準備	classroom の作成
具体的な学習活動	<ol style="list-style-type: none"> 1 本時の授業の流れの確認 2 めあて、準備運動 3 技能指導 手本動画と技能ポイントを Chromebook で確認する 4 練習 自己の課題に応じた技能ポイントや練習方法を動画で確認させて練習を進める。必要に応じて仲間と互いに動画を撮影し合い、仲間や自分の動きを確認し、技能のポイントを教え合う。 手本動画と自分の動きを比較し、改善点を見つける 5 片付け・学習カード <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>クラスルーム</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>お手本の動画で確認</p>  </div> </div>
ICT を使用した効果	わからない技能ポイントは動画で確認し、自己解決しようとする児童の姿が見られるようになった。教師を頼るのではなく仲間と課題解決するために教え合う様子が見られるようになった。撮影した動画と手本動画を活用し、家庭で保護者と一緒に自主練習する意欲的な児童が増えた。保護者も児童の運動能力を把握することができ、「成長している姿を感じる事ができた」と報告を受けた。

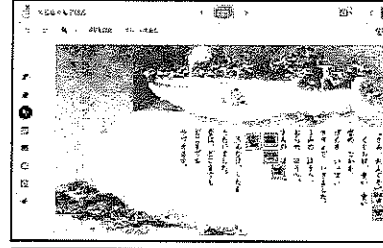
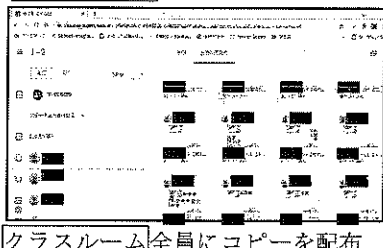
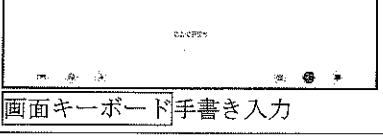
◆教科名・単元名・学年・使用台数

教科 : 国語
 単元 : くじらぐも
 学年(学級) : 1年
 使用台数 : 1人1台

◆授業内で使用した ICT ツール

ツール名 (カメラ機能、Google classroomなど)	Google classroom、Google Jamboard、画面キーボード
活用方法 (例)カメラの動画撮影機能を用いて、体育のマット運動の様子を撮影し、振り返りの際にグループで見直した。	Jamboard にくじらぐもの場面ごとのページを貼り付け、そこに児童が考えた登場人物のセリフを付箋に入力して貼り付ける。classroom の機能で一人一人のシートとグループごとのシートにわけ、一人で考えたものをグループで話し合えるようにした。画面キーボードの手書き入力と音声入力を使って付箋に入力をさせた。

◆授業の実際

ICT 使用のねらい	児童が思いついたセリフを Jamboard 上の付箋にたくさん書き出し、その付箋の大きさや位置を自由に変えられる機能を使うことで、何度も本文を読んで、その場面に合ったセリフかどうかを試しながら学習することができる。
必要な準備	<ol style="list-style-type: none"> 1 Jamboard で教材の作成。 2 classroom で個人用にジャムボードをコピーして配布、同じものをグループごとに配布。 3 児童用タブレット PC に画面キーボードを出せるようにしておき、手書き入力、音声入力の方法を指導しておく。
具体的な学習活動	<p>それぞれの場面ごとに同じように活動する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 本文を読む。 2 個人用の「くじらぐも」ワークシートを使って登場人物の言葉を考え登場人物ごとに色分けをして付箋に入力をさせる。(子供→ピンク、先生→緑、くじら→水色) 3 グループごとに配布した同じワークシートに自分の考えた言葉を入力する。 4 班で話し合っ言葉の取捨選択と言葉を入れるところを決める。 5 できたものを班で音読して紹介する。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>ジャムボード「くじらぐも」教材</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>クラスルーム 全員にコピーを配布</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>画面キーボード 手書き入力</p>  </div> </div>
ICT を使用した効果	この活動を通して児童は場面の様子を想像して言葉を考えるようになった。

効果 児童のワークシート第五場面

◆教科名・単元名・学年・使用台数

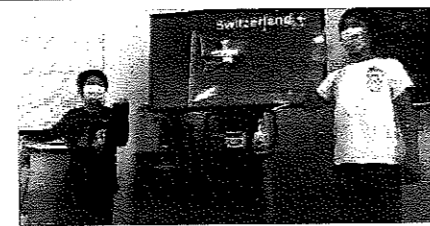
教科 : 外国語
 単元 : Unit 6 I want to go to Italy
 学年(学級): 第5学年 1組・2組・3組
 使用台数 : (1人1台 31人・30人・30人 計91人)

◆授業内で使用した ICT ツール

ツール名 (カメラ機能、Google classroom など)	Google classroom, フォーム, スライド, 動画機能, 検索機能, GoogleJamboard
活用方法 (例)カメラの動画撮影機能を用いて、体育のマット運動の様子を撮影し、振り返りの際にグループで見直した。	検索機能を活用し、紹介したいことをまとめる。 英文を作成した後、ALTによるお手本動画をアップし、個別学習。 グループごとに共同でスライドを作成。Jamboardで発表構成を考える。 発表の様子を動画で撮影し、より工夫できることを考える。 最後にアンケート機能で、魅力を感じた国を投票する。

◆授業の実際

ICT 使用のねらい	児童の言語活動に対する主体的態度の育成
必要な準備	①スライド作成のルールを明確にし、グループごとに共同編集設定して、配布。 ②ALTによるお手本動画を作成し、アップ。 ③フォームでのアンケートを作成し、配布。
具体的な学習活動	<p>1: 本単元の目当て「〇〇観光大使になり、プレゼンテーション大会をしよう」を知り、単元の見通しをもち学習に対する意欲を高める。どの国の観光大使になりたいか決める。</p> <p>2: おすすめの国の魅力を伝えるために、You can visit/ see / eat / buy の表現に慣れ親しむ。*検索機能を活用し、紹介したいことをメモする。</p> <p>3: 表現を活用しておすすめ国の魅力を調べ、ワークシートに英作する。 *検索機能を活用し、紹介したいことをまとめる。</p> <p>4: 表現を活用しておすすめ国の魅力を調べ、スライドにまとめる。 *作成にあたっての目的や場面、状況を再度確認し、聞いた人がその国へ行きたくくなるようなスライドを作成する。 *英文を作成した後、ALTによるお手本動画をアップし、個別学習。</p> <p>5: 行きたい国を尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しむ。</p> <p>6: おすすめとその理由について、内容や順番、見せ方を工夫して伝える。 *グループごとに共同でスライドを作成。Jamboardで発表構成を考える。</p> <p>7: おすすめの国とその理由について、相手意識をもって伝えようとする。(第1回録画)</p> <p>8: 録画を見て、更におすすめとその理由について、内容や順番、見せ方を工夫して伝える。*発表の様子を動画で撮影し、より工夫できることを考える。</p> <p>9: プレゼンテーション大会 + 結果発表 *最後にアンケート機能で、魅力を感じた国を投票する。</p>
ICTを使用した効果	<p>①スライドによる共同編集機能により、短時間で効果的なプレゼンテーションを行うことができた。</p> <p>②共同編集をしながら、共に学び合うことが可能となった。</p> <p>③お手本動画を見ながら、個人が自分のペースで学習することが可能となり、十分な練習を行った上でプレゼンテーション大会に臨むことが可能となった。</p> <p>④自分達の発表を動画で撮影して見るにより、客観的に自分達を評価し、次への課題を見出しながら学習する姿を見ることができた。</p> <p>⑤プレゼンテーション大会後に、どの国へ行きたくなくなったかを投票するという活動が入ることにより、児童の競争心を刺激し、プレゼンテーション大会へ向けて一層意欲を高めていた。フォームによって瞬時に結果が分かるため、知りたい時に結果を知ることができた。</p>



◆教科名・単元名・学年・使用台数

教科 : 体育
 単元 : 陸上運動 「走り幅跳び」
 学年(学級): 5年
 使用台数 : 1台

◆授業内で使用した ICT ツール

ツール名 (カメラ機能、Google classroom など)	カメラ機能
活用方法 (例)カメラの動画撮影機能を用いて、体育のマット運動の様子を撮影し、振り返りの際にグループで見直した。	カメラの動画撮影機能を用いて、体育の「走り幅跳び」の様子を撮影し、振り返りの際に、動画を確認した。

◆授業の実際

ICT 使用のねらい	動きのポイントや動きの課題を確認させ、自分の記録の伸びを楽しむことができる。
必要な準備	<ul style="list-style-type: none"> Chromebook Chromebook を固定する台
具体的な学習活動	<ul style="list-style-type: none"> 今日の学習の目標を立てる。 動きのポイントを友達同士で確認し合う。 動きのポイントを意識しながら、走り幅跳びを行い、記録を測定する。 撮影した動画を確認しながら、自己の課題を把握する。 もう一度、動きのポイントを意識しながら、走り幅跳びを行い、記録を測定する。 友達同士で、良かった点や課題を発表し合う。 今日の学習のまとめを書く。
ICTを使用した効果	<ul style="list-style-type: none"> 児童一人一人が、自分の跳ぶ様子を確認することができた。 児童が課題を把握しやすくなった。 学級全体で課題を共有することができた。 友達同士の良いところを認め合うことができた。



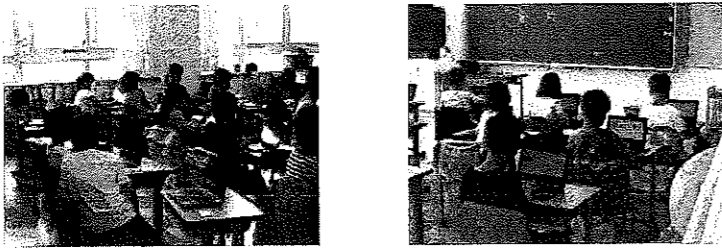

◆教科名・単元名・学年・使用台数

教科 : 社会
 単元 : わたちたちのまち
 学年(学級): 3年
 使用台数 : (1人1台や、グループでの使用など)

◆授業内で使用した ICT ツール

ツール名 (カメラ機能、Google classroom など)	Google map
活用方法 (例)カメラの動画撮影機能を用いて、体育のマット運動の様子を撮影し、振り返りの際にグループで見直した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、郊外に出たの町探検が実施できないことから、配布されたクロームブックを活用し、Google map上で羽衣町の探検を行った。

◆授業の実際

ICT 使用のねらい	自分たちが住んでいる町の様子を、Google mapを活用し、調べることができる。
必要な準備	<ul style="list-style-type: none"> Chromebook Google map 町探検の計画
具体的な学習活動	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの住んでいる町にある場所について、知っていることを書く。 知っていることを友達同士で話し合う。 Chromebookを開き、Google mapを活用して、羽衣町を探検する。 分かったことや気付いたことなどを記録する。 分かったことや気付いたことを発表し合う。 今日の学習で分かったことを書く。 
ICT を使用した効果	<ul style="list-style-type: none"> 郊外にでることなく、町探検を行うことができた。 児童が羽衣町のことを知る事ができた。 友達同士で分かったことや気付いたことを話し合うことができた。 児童一人一人の調べたい場所を調べることができた。 

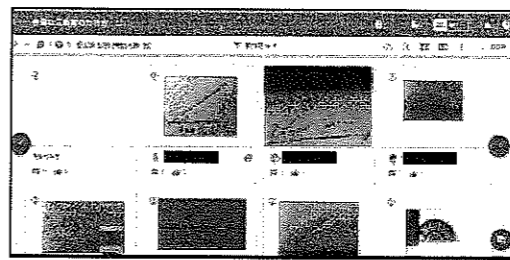
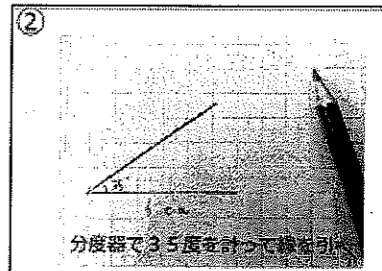
◆教科名・単元名・学年・使用台数

教科 : 算数
 単元 : 合同な図形
 学年(学級): 5年
 使用台数 : 1人1台

◆授業内で使用した ICT ツール

ツール名 (カメラ機能、Google classroom など)	まなびポケット schoolTakt、カメラ機能
活用方法 (例)カメラの動画撮影機能を用いて、体育のマット運動の様子を撮影し、振り返りの際にグループで見直した。	<ul style="list-style-type: none"> 合同な三角形のかき方を考えながら、ノートに作画し、その過程をカメラで撮影する。 撮影した画像を schoolTakt のページに貼り付け、かき方や必要な条件について説明を加える。 「共同閲覧モード」で互いの考えを交流し合い、合同な三角形のかき方の条件について考える。

◆授業の実際

ICT 使用のねらい	schoolTakt の「共同閲覧モード」で、お互いの考えを見合い、さらに相手に感想等のコメントを送り合う等の交流活動を行うことで、考え方の共有化を図る。
必要な準備	<ul style="list-style-type: none"> 学びポケットの「schoolTakt」に新規授業を作成。 schoolTakt 上に児童が写真を張り付けたり、考えをまとめたりするワークシートを作成。 対象児童に「受講コード」を知らせ、授業に参加させる。 参加児童にスクールタクト上でワークシートを配布。
具体的な学習活動	<ol style="list-style-type: none"> 教科書77ページの三角形と合同な三角形のかき方を考える。 自分のかき方が分かるように、かく過程をタブレット PC のカメラで撮影しながら、ノートに合同な三角形をかく。 schoolTakt のワークシートに撮影した写真を張り付け、自分がどうやってかいたのか相手に伝えるようにまとめる。 一つのやり方をまとめて、まだ時間があれば、他のかき方も考えて、同様にワークシートにやり方をまとめる。 全員の考えを出そろったところで、「共同閲覧モード」を ON にして、互いのやり方を見合う。 自分のやり方とは違うやり方を見つけ、合同な三角形のかき方は一つではないことを知る。 合同な三角形をかくのに必要な構成要素は最低いくつなのか、かき方の種類はいくつあるのか、みんなのやり方を見合いながら考える。 合同な三角形をかくには、最低3つの構成要素が分かればかけること、かき方には3種類あることをまとめる。  
ICT を使用した効果	<ul style="list-style-type: none"> 互いの考えの共有化を図る際には、スクールタクトの「共同閲覧モード」を活用すると、一部の児童の考えだけでなく、全員の考えを見合うことができるので、共有化の幅が広がる。 ワークシート上に考えをまとめることができれば、口頭での発表が苦手な児童でも、自分の考えをみんなに伝えることができる。 教師が仲介しなくても、互いの考えを交流できるので、交流活動をスピーディーに効率よく行うことができる。 教師は、リアルタイムで児童の取り組みの様子が分かり、学習状況を把握しやすい。

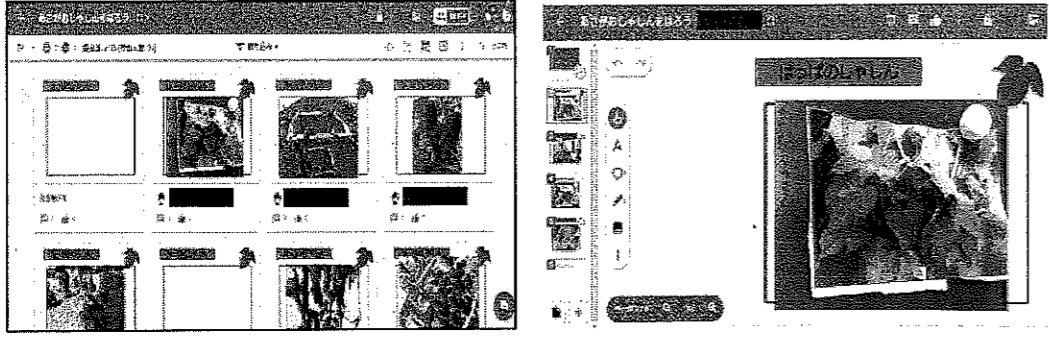
◆教科名・単元名・学年・使用台数

教科 : 生活科
 単元 : わたしのあさがお
 学年(学級) : 1年
 使用台数 : 1人1台

◆授業内で使用した ICT ツール

ツール名 (カメラ機能、Google classroom など)	まなびポケット schoolTakt、カメラ機能
活用方法 (例)カメラの動画撮影機能を用いて、 体育のマット運動の様子を撮影し、振 返りの際にグループで見直した。	自分で育てているアサガオの成長の様子を観察・記録する際に、タブ レットのカメラ機能を使って撮影し、撮影した写真を schoolTakt で作成したワークシートに張り付け、観察記録を作成した。

◆授業の実際

ICT 使用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> 観察カードを電子化し、絵を描くのではなく、写真で記録することで、成長の様子がより分かりやすくなり、絵を描くのが苦手な児童も抵抗なく観察カードを作成できる。 今後、様々な場面で活用するであろうカメラ機能や schoolTakt に1年生時から慣れ親しむ。
必要な準備	<ul style="list-style-type: none"> 学びポケットの「schoolTakt」に新規授業を作成。 schoolTakt 上にワークシートを作成。 対象児童に「受講コード」を知らせ、授業に参加させる。 参加児童にスクールタクト上でワークシートを配布。
具体的な学習活動	<ol style="list-style-type: none"> アサガオの成長の様子をタブレット PC を活用して記録していくことを知る。 タブレット PC のカメラ機能の使い方と気をつける点(安全面)を知る。 schoolTakt で受講コードを入力して、授業に参加する。 タブレット PC を持って校庭へ行き、自分の育てているアサガオの「葉の様子」「つるの様子」「つぼみの様子」「花の様子」を撮影する。 教室へ戻り、撮影した写真を schoolTakt のワークシートに張り付ける。 <p>※数日後、同様の活動を行い、アサガオの成長の様子を観察する。 ※タブレット PC の活用に慣れてきたら、貼り付けた写真に気づいたこと等を手書きで入力させる。</p> 
ICT を使用した効果	<ul style="list-style-type: none"> カメラ機能を活用して、写真で観察記録を作成させることで、絵を描くことが苦手な児童も抵抗なく観察記録づくりができる。 紙ベースではないので、紙の節約にもなる。 schoolTakt の「共同閲覧モード」を活用すれば、互いのカードを見合うことができるので、教室や廊下に掲示する必要がなくなる。 教師は、リアルタイムで児童の取り組みの様子が分かり、学習状況を把握しやすい。


◆教科名・単元名・学年・使用台数

教科 : 理科
 単元 : 季節と生き物
 学年(学級) : 4年1組
 使用台数 : 1人1台

◆授業内で使用した ICT ツール

ツール名 (カメラ機能、Google classroom など)	Chromebook カメラ機能
活用方法 (例)カメラの動画撮影機能を用いて、 体育のマット運動の様子を撮影し、振 返りの際にグループで見直した。	Chromebook のカメラ機能を用いて、桜の木の写真を春・夏・秋・冬で撮 る。その写真を用いて、季節の移り変わりについての気づきなどについ て話し合いまとめる。

◆授業の実際

ICT 使用のねらい	観察する代わりに、Chromebook のカメラ機能を用いて、写真を撮り、専用のフォルダに保存して、季節の移り変わりについて考える。
必要な準備	Chromebook
具体的な学習活動	<p>季節の生き物について、春夏秋冬の季節ごとに、植物や昆虫などの写真を撮影し、フォルダに保存する。その写真を見ながら、季節ごとに、植物や昆虫などの違いや関連などについて、考察し、結論を導き出していく。具体的には、下記の写真のように、ヘチマの成長についての写真を撮影し、時系列で整理して、季節と植物の成長に関連付けて、学習を進めた。</p> 
ICT を使用した効果	観察して、スケッチすることが苦手な児童にとっては、簡単に写真を撮ることによって、植物や昆虫の季節の移り変わりに伴っての変化について実感を持って気付くことができる。


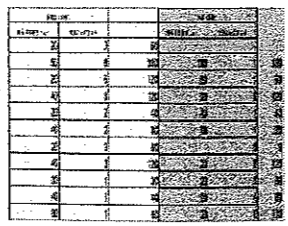
◆教科名・単元名・学年・使用台数

教科 : 理科
 単元 : てこのはたらき
 学年(学級) : 6年2組
 使用台数 : 1人1台

◆授業内で使用した ICT ツール

ツール名 (カメラ機能、Google classroom など)	Chromebook, Google スプレッドシート
活用方法 (例)カメラの動画撮影機能を用いて、体育のマット運動の様子を撮影し、振り返りの際にグループで見直した。	スプレッドシートを共同編集し、実験結果を共有することで、他の班の実験結果も参照でき、考察に活かすことができる。

◆授業の実際

ICT 使用のねらい	すべての班のてこの実験結果を共同編集で1つにまとめることで、自分の班の結果だけでなく全体のデータをもとに考察する。
必要な準備	Chromebook
具体的な学習活動	<p>てこの水平につり合うときのきまりについて、実験を行う。 作用点(左側)のおもりと力点(右側)のおもり、支点からの距離でつり合う組み合わせを探し、ノートにまとめる。 班でまとめたものを Chromebook に共同編集でデータを入力する。</p> 
ICT を使用した効果	<p>自分の班の結果だけでなく全体の結果を1人1人の Chromebook で確認でき、考察に活用でき、データ入力の際、班で役割を分担し、多くの子書き込むことができる。</p> 

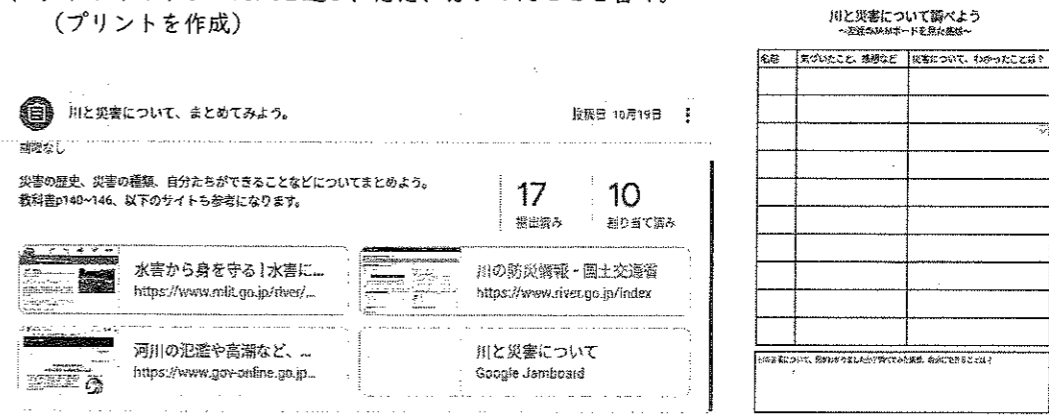
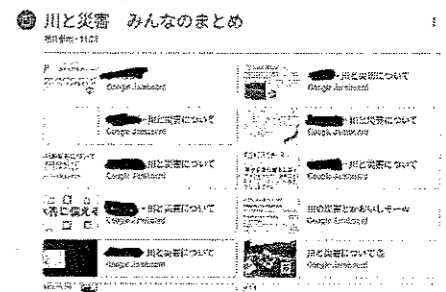
◆教科名・単元名・学年・使用台数

教科 : 理科
 単元 : 流れる水と土地 川と災害
 学年(学級) : 5年生
 使用台数 : 1人1台

◆授業内で使用した ICT ツール

ツール名 (カメラ機能、Google classroom など)	Google classroom, Google Jamboard
活用方法 (例)カメラの動画撮影機能を用いて、体育のマット運動の様子を撮影し、振り返りの際にグループで見直した。	川と災害について調べる。Jamboard にまとめる。(個人) 個人のを「資料」として classroom に配布し、全員で全員のものを見られるようにした。

◆授業の実際

ICT 使用のねらい	<p>(1) 児童一人一人全員が、しっかり課題に取り組めるようにした。 (2) 教科書の情報にとどまらず、様々な角度から災害について考えられるようにした。</p>
必要な準備	<p>(1) Jamboard (白紙) (2) classroom (3) 資料として配布する準備 (4) 参考サイトが児童のフィルタリングにかからないかのチェック</p>
具体的な学習活動	<p>(1) 二時間ほどとり、児童は川と災害について調べる。 (2) 完成してなくても一度区切り、個人で作成した。 (3) Jamboard をみんなで見られるようにする。(資料として配布) (4) わかりやすかった人を選び、感想、分かったことを書く。 (プリントを作成)</p> 
ICT を使用した効果	<p>(1) 課題に参加しない児童はなくなった。 (2) 積極的に取り組む児童が増えた。 (3) 家庭で自主的に取り組む児童も増えた。 (4) 休みの児童へのサポートがしやすい。 (5) 机間指導で調べ方のアドバイス、テーマの助言等はできた。さらにどこまで力がついているかわかるように工夫していきたい。</p> 

◆教科名・単元名・学年・使用台数

教科 : 国語
 単元 : 「そらだんにのってください」
 学年(学級) : 2年2組
 使用台数 : 1人1台

◆授業内で使用した ICT ツール

ツール名 (カメラ機能、Google classroom など)	Google classroom, スプレッドシート, 手書き文字入力機能
活用方法 (例)カメラの動画撮影機能を用いて、 体育のマット運動の様子を撮影し、振 返りの際にグループで見直した。	(1) 一人一人が個人用シートに話題を入力(手書き文字入力機能) (2) 共有シートで話題をテーマごとに分類 (3) 分類ごとにグループを作り、共通の話題について相談し合う (4) 相談結果を個人用シートに入力(手書き文字入力機能) (5) 共有シートで相談文になっているか、適切な答えが得られたかを 評価し合う

◆授業の実際

ICT 使用の ねらい	個別学習(第1時)→グループ活動(第2時)→個別学習(第3時)→一斉学習(第4時) …といった学習の流れを classroom 上で一元管理することで… (1) 個人やグループへの授業者によるアドバイスを、比較的容易に複数回行えるようにする *ノートの回収、再配布が不要 読み取り不能な乱雑な字に悩まされない 消しゴムで消す面倒を解消 (2) 個人の入力が即共有シートに反映されることで、一定程度入力内容の質が向上する (3) 他児の考えを同時並行的に知ることができ、自信を深めたり視野を広げたりする (4) 共有シート(一覧表)を分類ごとに瞬時に並べ替えることができ、互いの考えを見比べやすい																																																																																																																																																																				
必要な 準備	(1) 一つのスプレッドシートに個人用シート(全員分)と共有用のシート(1枚)を設定 *個人シートから共有シートへ自動で内容が反映されるようにする (2) classroom で上記スプレッドシートを「生徒はファイルを編集可能」で配布 (3) 他児のシートへの誤入力等が頻発する場合は、セルに保護をかけ該当者だけが入力可とする (4) 1, 2年生の場合、各自が持つ Chromebook の手書き文字入力機能を ON とし、操作法を児童に示す…一 部児童は、キーボードからローマ字入力ができている←自宅の PC で練習してくるらしい																																																																																																																																																																				
具体的な 学習活動	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>↓個人用シート</p> <p>[P35 わたしをさめよう] 友だちにそらだんしてみたいことを書こう。</p> <p>じぶんの考え、こたえ</p> <p>ぼくがそらだんしたいことは、 こたえ=友だちからもらったアドバイスは、</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>↓個人用シート</p> <p>[P35 わたしをさめよう] 友だちにそらだんしてみたいことを書こう。</p> <p>じぶんの考え、こたえ</p> <p>わたしがみんなに書いてみたいのは、 こたえ=〇〇くんからもらったアドバイスで、</p> </div> </div> <table border="1" style="margin-top: 10px; width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>みんなの考え、誰だこたえ</th> <th>分類</th> <th>コメント(先生)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、</td><td>6</td><td>友だち どのし のそらだんになりま せん。</td></tr> <tr><td>2</td><td>ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、</td><td>6</td><td>友だち どのし のそらだんになりま せん。</td></tr> <tr><td>3</td><td>ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、</td><td>6</td><td>友だち どのし のそらだんになりま せん。</td></tr> <tr><td>4</td><td>ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、</td><td>6</td><td>友だち どのし のそらだんになりま せん。</td></tr> <tr><td>5</td><td>ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、</td><td>6</td><td>友だち どのし のそらだんになりま せん。</td></tr> <tr><td>6</td><td>ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、</td><td>6</td><td>友だち どのし のそらだんになりま せん。</td></tr> <tr><td>7</td><td>ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、</td><td>7</td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td>ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、</td><td>7</td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td>ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、</td><td>6</td><td>友だち どのし のそらだんになりま せん。</td></tr> <tr><td>10</td><td>ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、</td><td>6</td><td>友だち どのし のそらだんになりま せん。</td></tr> <tr><td>11</td><td>ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、</td><td>6</td><td>友だち どのし のそらだんになりま せん。</td></tr> <tr><td>12</td><td>ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、</td><td>6</td><td>友だち どのし のそらだんになりま せん。</td></tr> <tr><td>13</td><td>ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、</td><td>6</td><td>友だち どのし のそらだんになりま せん。</td></tr> <tr><td>14</td><td>ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、</td><td>6</td><td>友だち どのし のそらだんになりま せん。</td></tr> <tr><td>15</td><td>ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、</td><td>6</td><td>友だち どのし のそらだんになりま せん。</td></tr> <tr><td>16</td><td>ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、</td><td>6</td><td>友だち どのし のそらだんになりま せん。</td></tr> <tr><td>17</td><td>ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、</td><td>6</td><td>友だち どのし のそらだんになりま せん。</td></tr> <tr><td>18</td><td>ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、</td><td>6</td><td>友だち どのし のそらだんになりま せん。</td></tr> <tr><td>19</td><td>ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、</td><td>6</td><td>友だち どのし のそらだんになりま せん。</td></tr> <tr><td>20</td><td>ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、</td><td>6</td><td>友だち どのし のそらだんになりま せん。</td></tr> <tr><td>21</td><td>ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、</td><td>6</td><td>友だち どのし のそらだんになりま せん。</td></tr> <tr><td>22</td><td>ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、</td><td>6</td><td>友だち どのし のそらだんになりま せん。</td></tr> <tr><td>23</td><td>ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、</td><td>6</td><td>友だち どのし のそらだんになりま せん。</td></tr> <tr><td>24</td><td>ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、</td><td>6</td><td>友だち どのし のそらだんになりま せん。</td></tr> <tr><td>25</td><td>ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、</td><td>6</td><td>友だち どのし のそらだんになりま せん。</td></tr> <tr><td>26</td><td>ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、</td><td>6</td><td>友だち どのし のそらだんになりま せん。</td></tr> <tr><td>27</td><td>ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、</td><td>6</td><td>友だち どのし のそらだんになりま せん。</td></tr> <tr><td>28</td><td>ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、</td><td>6</td><td>友だち どのし のそらだんになりま せん。</td></tr> <tr><td>29</td><td>ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、</td><td>6</td><td>友だち どのし のそらだんになりま せん。</td></tr> <tr><td>30</td><td>ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、</td><td>6</td><td>友だち どのし のそらだんになりま せん。</td></tr> <tr><td>31</td><td>ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、</td><td>6</td><td>友だち どのし のそらだんになりま せん。</td></tr> <tr><td>32</td><td>ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、</td><td>6</td><td>友だち どのし のそらだんになりま せん。</td></tr> <tr><td>33</td><td>ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、</td><td>6</td><td>友だち どのし のそらだんになりま せん。</td></tr> <tr><td>34</td><td>ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、</td><td>6</td><td>友だち どのし のそらだんになりま せん。</td></tr> <tr><td>35</td><td>ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、</td><td>6</td><td>友だち どのし のそらだんになりま せん。</td></tr> <tr><td>36</td><td>ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、</td><td>6</td><td>友だち どのし のそらだんになりま せん。</td></tr> <tr><td>37</td><td>ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、</td><td>6</td><td>友だち どのし のそらだんになりま せん。</td></tr> <tr><td>38</td><td>ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、</td><td>6</td><td>友だち どのし のそらだんになりま せん。</td></tr> <tr><td>39</td><td>ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、</td><td>6</td><td>友だち どのし のそらだんになりま せん。</td></tr> <tr><td>40</td><td>ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、</td><td>6</td><td>友だち どのし のそらだんになりま せん。</td></tr> </tbody> </table> <p>↑共有シート…分類番号を振ったり、コメントを付たりできる</p>	番号	みんなの考え、誰だこたえ	分類	コメント(先生)	1	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。	2	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。	3	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。	4	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。	5	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。	6	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。	7	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	7		8	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	7		9	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。	10	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。	11	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。	12	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。	13	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。	14	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。	15	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。	16	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。	17	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。	18	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。	19	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。	20	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。	21	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。	22	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。	23	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。	24	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。	25	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。	26	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。	27	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。	28	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。	29	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。	30	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。	31	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。	32	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。	33	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。	34	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。	35	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。	36	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。	37	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。	38	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。	39	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。	40	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。
番号	みんなの考え、誰だこたえ	分類	コメント(先生)																																																																																																																																																																		
1	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。																																																																																																																																																																		
2	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。																																																																																																																																																																		
3	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。																																																																																																																																																																		
4	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。																																																																																																																																																																		
5	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。																																																																																																																																																																		
6	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。																																																																																																																																																																		
7	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	7																																																																																																																																																																			
8	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	7																																																																																																																																																																			
9	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。																																																																																																																																																																		
10	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。																																																																																																																																																																		
11	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。																																																																																																																																																																		
12	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。																																																																																																																																																																		
13	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。																																																																																																																																																																		
14	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。																																																																																																																																																																		
15	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。																																																																																																																																																																		
16	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。																																																																																																																																																																		
17	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。																																																																																																																																																																		
18	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。																																																																																																																																																																		
19	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。																																																																																																																																																																		
20	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。																																																																																																																																																																		
21	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。																																																																																																																																																																		
22	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。																																																																																																																																																																		
23	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。																																																																																																																																																																		
24	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。																																																																																																																																																																		
25	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。																																																																																																																																																																		
26	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。																																																																																																																																																																		
27	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。																																																																																																																																																																		
28	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。																																																																																																																																																																		
29	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。																																																																																																																																																																		
30	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。																																																																																																																																																																		
31	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。																																																																																																																																																																		
32	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。																																																																																																																																																																		
33	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。																																																																																																																																																																		
34	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。																																																																																																																																																																		
35	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。																																																																																																																																																																		
36	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。																																																																																																																																																																		
37	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。																																																																																																																																																																		
38	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。																																																																																																																																																																		
39	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。																																																																																																																																																																		
40	ぼくがそらだんしたいことは、こたえ=友だちからもらったアドバイスは、	6	友だち どのし のそらだんになりま せん。																																																																																																																																																																		
ICT を使用 した効果	(1) 出題の意図を即座に理解し classroom を上手に扱える児童が2割程度存在し、ミニ先生として活躍 (2) ミニ先生のアドバイスにより、出題の意図を理解し適切に回答できる児童が6割程度発現する (3) 授業者は、残り2割程度の児童に対し複数回のアドバイスを丁寧に行うことができる																																																																																																																																																																				

◆教科名・単元名・学年・使用台数

教科 : 学級活動
 単元 : (2) 当番リクエストをしよう
 学年(学級) : 3年1組
 使用台数 : 1人1台

◆授業内で使用した ICT ツール

ツール名 (カメラ機能、Google classroom など)	まなびポケット schoolTakt
活用方法 (例)カメラの動画撮影機能を用いて、 体育のマット運動の様子を撮影し、振 返りの際にグループで見直した。	schoolTakt を用いて、他の当番への要望と、自分の当番活動を今後どの ように取り組むかを記入し、見合う。

◆授業の実際

ICT 使用のねらい	当番活動への要望を全員で見合うことで、どのような要望があるのか一目できる。また、「いいね」を 付けることで、多くの児童が同意見であることが分かりやすい。
必要な 準備	<ul style="list-style-type: none"> schoolTakt で、課題を作って配布しておく。 Chromebook を持ってくるように指示しておく。 Chromebook を忘れた児童へのアナログでの対応を考えて準備しておく。(今回は、ミニホワイトボ ードや短冊を用意)
具体的な 学習活動	<ol style="list-style-type: none"> 事前に schoolTakt の自分のページに、他の当番への要望を書いておく。 他の児童の要望を見て、自分も同意見のものに「いいね」をする。 全体で改善してほしい当番を確認する。 自分の当番活動を見直し、今後の取り組み方を決定し、自分のページの2ページ目に書き込む。 全体で自分が決めたことを発表する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>配り当番として、自分から気づいてどんどんやって中休みと昼休みに、配りたいです。</p> </div>
ICT を使用 した効果	<ul style="list-style-type: none"> ○一目で現在の課題が分かる。また、全員で共有ができる。 ○今後の取り組み方の意志決定が残り、評価しやすい。 ●画面に集中してしまい、全体共有の時などに一律で黒板や発表者の方に目を向けない児童がいる。Chromebook を閉じさせたいが、閉じると消えてしまうのでできない。

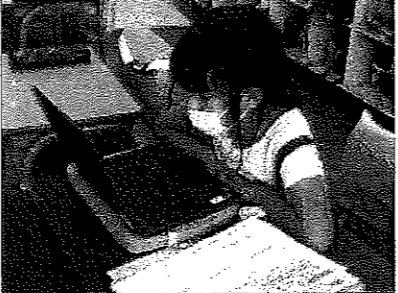

◆教科名・単元名・学年・使用台数

教科 : 社会科
 単元 : わたしたちのくらしと商店の仕事
 学年(学級) : 3年1組
 使用台数 : 1人1台

◆授業内で使用した ICT ツール

ツール名 (カメラ機能、Google classroom など)	Google まなびポケット schoolTakt
活用方法 (例)カメラの動画撮影機能を用いて、 体育のマット運動の様子を撮影し、振 返りの際にグループで見直した。	Google を用いて調べ学習をした。 schoolTakt を用いて、ワークシートの共有化をした。

◆授業の実際

ICT 使用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書や本だけでは調べられないことを調べる。 ・ワークシートの自分の考えを、全体で共有する。
必要な準備	<ul style="list-style-type: none"> ・ schoolTakt で、課題を作って配布しておく。 ・調べ方のキーワードを教えられるようにしておく。 ・Chromebook を持ってくるように指示しておく。
具体的な学習活動	<ol style="list-style-type: none"> 1. スーパーマーケットを運営する上で必要なことを調べる。 2. 調べたことを基に、班で考えたスーパーマーケットに必要な物を決めて、ワークシートに書く。 3. ワークシートに書いた物をカメラ機能で撮影し、schoolTakt の自分のページに貼り付ける。 4. 全員が閲覧できるようにし、分からないところや質問したいところを見付け、直接質問をしに行く。  
ICT を使用した効果	<ul style="list-style-type: none"> ○資料を手軽に探すことができる。 ○Chromebook とワークシートを活用することと班活動を行うことで、自然と学び合いができる。 ○ワークシートを共有することができるので、様々な考え方を一目できる。 ●調べ方が分からない児童がいたり、ブロックされているサイトが多かったりして、調べ学習が進まない児童がいた。

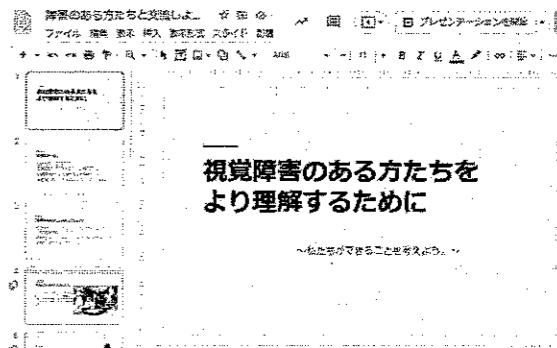
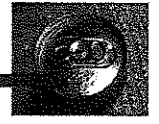
◆教科名・単元名・学年・使用台数

教科 : 総合的な学習の時間
 単元 : 障害のある人と交流しよう ～障害について調べよう～
 学年(学級) : 3年1組
 使用台数 : 1人1台

◆授業内で使用した ICT ツール

ツール名 (カメラ機能、Google classroom など)	Google スライド
活用方法 (例)カメラの動画撮影機能を用いて、 体育のマット運動の様子を撮影し、振 返りの際にグループで見直した。	Google スライド用いて調べたことを効果的に発表した。

◆授業の実際

ICT 使用のねらい	<p>児童が発表スライドの加除訂正を素早く行うことができることで、紙ベースでポスターを作成するよりも短時間で作業が行える。また、発表する際にアニメーション等で見る側の興味を引くことができる。</p>
必要な準備	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピックについて触れる ・Google スライドの基本的な使い方を伝える（教師側が発表例を提示する） ・調べ学習をする際は著作権に触れ、参考にした Web サイトなどの URL は発表の際に必ず紹介するという情報モラルについて指導する。書籍についても同様の指導をする。
具体的な学習活動	<ol style="list-style-type: none"> ①障害者についてのオリエンテーション ②パラリンピックの紹介 ③様々な障害について紹介 ④調べ学習を行う インターネット、本を利用して障害について調べる。 ⑤調べたことをスライドにまとめる ・スライドの基本的な使用方法を指導する ・スライドに調べたことをまとめる ⑥調べたことを発表する ・学校公開に合わせて保護者へ発表する。 
ICT を使用した効果	<ol style="list-style-type: none"> ①児童が興味をもち、主体的に調べ学習から発表まで取り組むことができた。 ②早く終わった児童は、さらに自分の調べたいことを調べて、自主的にスライドを作成していた。 ③失敗しても何度も修正をすることができるので、学習の時間を効率よく作業に充てられることができた。 <p>眼が見えない人が字を読むために</p> <p>この文字は古代の文字ではありません。 これは「点字」と呼んで、視覚障害のある方が、指でこの凹凸をなぞって文字として認識しているのです。 身近なものにはエレベーターや駅の待合室などに点字が埋め込まれていて、目で読めなかった方が読み取ることが出来ます。</p> 

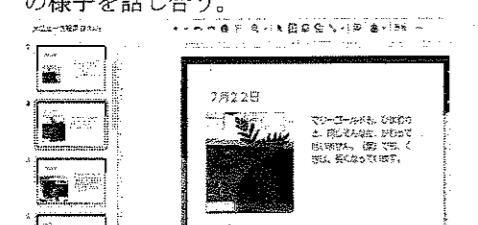
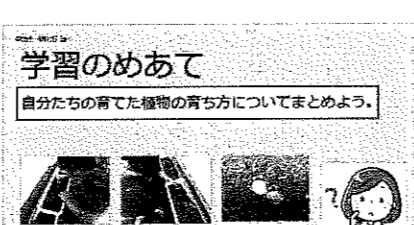

◆教科名・単元名・学年・使用台数

教科 : 理科
 単元 : 花をさかせたあと
 学年(学級): 3年1組
 使用台数 : 1人1台

◆授業内で使用した ICT ツール

ツール名 (カメラ機能、Google classroom など)	Google スライド Google Jamboard スプレッドシート
活用方法 (例)カメラの動画撮影機能を用いて、体育のマット運動の様子を撮影し、振り返りの際にグループで見直した。	Google スライド用いて調べたことを効果的に発表した。 Jamboard を使用して植物の成長の共通点について意見交換を行った。 スプレッドシートを使用して、植物の成長記録をグラフ化した。

◆授業の実際

ICT 使用のねらい	Google スライドを活用することによって、ひまわり、ホウセンカ、マリーゴールドの週ごとの成長の変化を写真で撮り、デジタル観察カードを作成し成長記録をもとに、植物の成長には差異があることを理解させる。また、絵を描くことが苦手な児童にとっては写真を撮ることで、記録が残せるというメリットがある。
必要な準備	カメラ機能の説明 スライド、Jamboard、スプレッドシートの基本的な使用方法の説明 植物の種植え
具体的な学習活動	<p>①種を植える日から毎週自分の班の植物の写真を撮影する。 ②写真をもとにスライド作成を行う。 ③スプレッドシートに植物の草丈を記録し、グラフ化する。 ④花を咲かせたあとの学習では、撮りためた写真を見ながら Jamboard を使用して班ごとに植物の成長の様子を話し合う。</p>    <p>つまり、草丈の長さは、違っても、植物のつくりは、同じ。</p>
ICT を使用した効果	<p>①挙手発言をしなくても自分の意見が全体でリアルタイム共有することができるので、評価しやすい。 ②様々なアプリケーションを試してみたいと児童が主体的にタブレットを使うようになった。 ③資料写真を扱うことで、視覚的に認知することができるので児童の理解が早くなった。</p>

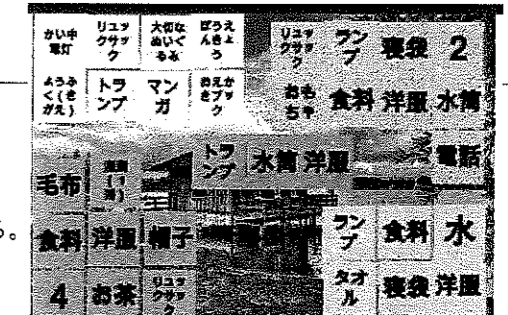
◆教科名・単元名・学年・使用台数

教科 : 国語
 単元 : 「山小屋で三日間すごすなら」
 学年(学級): 3学年
 使用台数 : 1人1台

◆授業内で使用した ICT ツール

ツール名 (カメラ機能、Google classroom など)	Google classroom, Google Jamboard
活用方法 (例)カメラの動画撮影機能を用いて、体育のマット運動の様子を撮影し、振り返りの際にグループで見直した。	Jamboard 上で付箋を作り、互いの意見を可視化した。 「山小屋」の写真素材を貼り付けて、課題の理解を深めた。

◆授業の実際

ICT 使用のねらい	Jamboard を使うことによって、互いの意見を可視化する。 写真素材を貼り付けることで「山小屋」のイメージを揃える。
必要な準備	<p>Jamboard のページごとに山小屋の背景を設定する。 Jamboard の使い方・ルールを徹底 (自分の付箋の管理は自分です、他の人の付箋を動かさない、など) する。</p> 
具体的な学習活動	<p>約束事 ○5名でグループを作る。 ○グループごとに付箋を貼るページを指定する。 ○ページごとに、誰が何色の付箋で投稿するか指定する。 ○ほかの人の付箋を勝手に動かさない。</p> <p>教科書「山小屋で三日間すごすなら」を読み、前提条件を理解する。 ○山小屋であること。 ○三日間であること。 ○自然を楽しみ、観察できること。 ○友達と楽しくすごすこと。 ○持っていくのは、最終的には5点程度に絞り込むこと。</p> <p>友達と相談せずに、自分の考えた「持っていきたいもの」を付箋に入力する。 友達の入力したものも見る事ができる。 全員が自分の考えを入力した上で、画面をもとに相談を始める。 一人を操作役に決め、付箋を動かすことで優先順位の検討を進める。 最終的な順位を確定する。</p> <p>グーグルドライブ 市内先生共有ドライブ 「南砂3年国語 『山小屋で三日間すごすなら』を ご参照ください。</p>
ICT を使用した効果	<p>互いの意見を見ながら考えることができた。 3年生に Jamboard は難しいとも心配した (実際、1学期に試用した際は、人のカードを動かしたり書き換えたりするなど、おもちゃにする事例がみられた) が、マナーの指導を進め、今回はいたずらも見られず、考えを共有することができた。 次は、思考ツールを用いて意見の整理ができるようにしたいと考えている。</p>

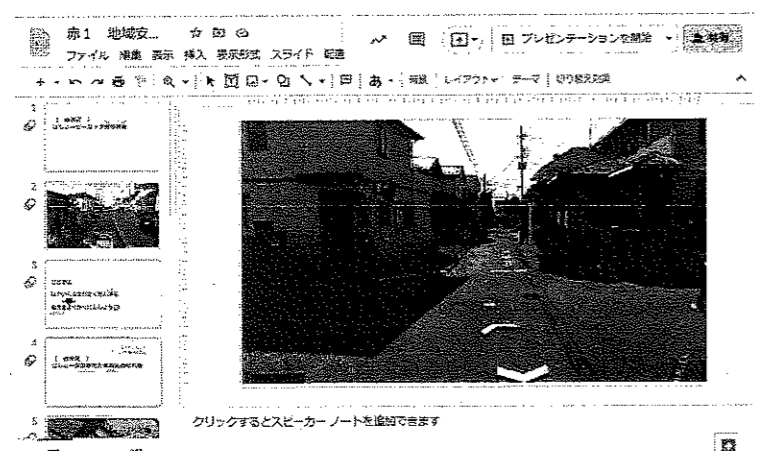
◆教科名・単元名・学年・使用台数

教科 : 総合的な学習の時間
 単元 : 地域安全マップを作ろう
 学年(学級) : 4学年
 使用台数 : 1人1台

◆授業内で使用した ICT ツール

ツール名 (カメラ機能、Google classroom など)	Google Jamboard、Google スライド、Google Earth
活用方法 (例)カメラの動画撮影機能を用いて、体育のマット運動の様子を撮影し、振り返りの際にグループで見直した。	クラスルームから Jamboard、スライド(ひな形を作成しておく)を配布した。児童は、同じ地区ごとの3~4名のグループで、一つの Jamboard で危険箇所について話し合い、スライドを使って地区の危険箇所や取るべき行動を作成し、2年生へ紹介した。

◆授業の実際

ICT 使用のねらい	Jamboard を使って、危険箇所の話し合いをすることができる。 プレゼンテーションのためのスライドを、相手に合わせて作成することができる。 伝えたい危険箇所について説明するため、Google Earth を使って、写真を挿入することができる。
必要な準備	<ul style="list-style-type: none"> ・Jamboard、スライドの使い方の練習 ・Google Earth の使い方、スクリーンショットの使い方の練習 ・地区ごとのグループ分け ・Jamboard、スライドのひな形の作成
具体的な学習活動	<ul style="list-style-type: none"> ・Jamboard を使って、地区の危険箇所を出し合い、伝えたい場所を決定する。 ・地区ごとのグループで、決定した危険箇所を伝えるためのスライドを作成する。 ・スライドを使いながらの発表練習をする。 ・2年生に発表する。 
ICT を使用した効果	<ul style="list-style-type: none"> ・校外学習が思うようにできなかったため、外に行かなくても写真が使えるよう Google Earth のスクリーンショットを活用した。 ・スライドを使うことで、プレゼンテーションの資料作りが見栄えよく、また修正も容易にできた。


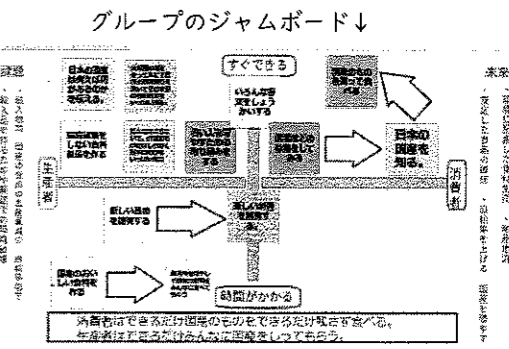
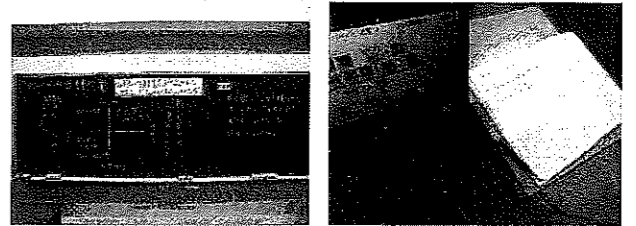
◆教科名・単元名・学年・使用台数

教科 : 社会
 単元 : 未来を支える食料生産
 学年(学級) : 5年
 使用台数 : 1人1台

◆授業内で使用した ICT ツール

ツール名 (カメラ機能、Google classroom など)	Google classroom Google Jamboard
活用方法 (例)カメラの動画撮影機能を用いて、体育のマット運動の様子を撮影し、振り返りの際にグループで見直した。	Jamboard を使って全員が発言しやすい環境を整える 教員がこれまでの学習で使った図や写真の資料を導入時において提示する。

◆授業の実際

ICT 使用のねらい	Google Jamboard を活用して、学級の全員が発言しやすい環境を整え、多様な考えに触れることができるようにする。
必要な準備	Chromebook 児童一人1台 
具体的な学習活動	<ol style="list-style-type: none"> 1 前時までの学習を振り返り国内の食料生産の課題と未来の姿を学級で共有する。(担任がスライドで写真や資料を提示する) 2 個人 国内の食料生産の発展に向けてできることを生産者と消費者、すぐできることと時間がかかることの4つに分類して Jamboard に書き込む。 3 グループ 個人で考えた意見をグループ内で交流し、学習問題に対する最終的な意見をジャムボードにまとめる。 4 全体 グループでまとめた意見を発表する。 5 個人 食料生産の学習を通して、考えが変わったことや、新たに気付いたことなどをノートに書く。 
ICT を使用した効果	個人、グループ、全体、個人と学習形態を変えながら学習を進める。Jamboard を活用することで、児童一人一人が具体的、多面的に考えることができた。 

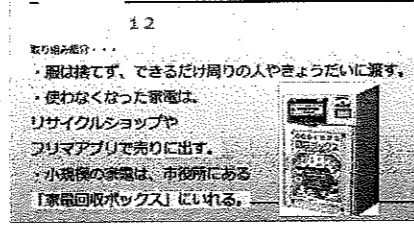
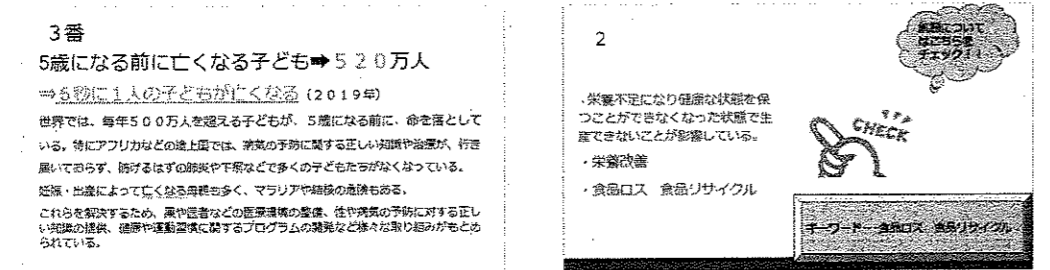
◆教科名・単元名・学年・使用台数

教科 : 総合的な学習の時間
 単元 : 「SDGsについて調べよう」
 学年(学級) : 6学年
 使用台数 : 1人1台

◆授業内で使用した ICT ツール

ツール名 (カメラ機能、Google classroom など)	Google スライド、検索
活用方法 (例)カメラの動画撮影機能を用いて、体育のマット運動の様子を撮影し、振り返りの際にグループで見直した。	<ul style="list-style-type: none"> ○スライドを使い、SDGsについて個々にまとめた。 ○インターネットの情報を引用したり、画像を利用したりした。 ○プレゼンテーション機能を使い、クラスで発表会を行った。

◆授業の実際

ICT 使用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○多くの情報の中から必要な情報を選ぶ力の育成。 ○情報を整理し、要点を絞って提示する力の育成。
必要な準備	<ul style="list-style-type: none"> ○一人一台タブレット PC ○Google classroom にて、スライドの配布 (課題として配布) ○インターネットで事前に使える情報の事前リサーチ (ユニセフのホームページなど) 
具体的な学習活動	<ul style="list-style-type: none"> ○インターネットを使用し、情報を集める。 ○集めた情報を整理し、伝えたいことを選ぶ。 ○キーワードをスライドに打ち込み、説明できるように準備する。 ○スライドのプレゼンテーション機能を使い、発表の練習をする。 ○クラスごとに発表をする。 
ICT を使用した効果	<ul style="list-style-type: none"> ○様々なページから情報を集められた。 【課題】情報を選び取る力をさらに高める必要がある。 ○スライドを使い、発表することができた。 【成果】アニメーション機能も使い、工夫したスライドを作成することができた。 【課題】色使いや文字の量、色などの工夫に改善の余地があった。 友達の発表を聞き、見やすいものはどんなものかを学ぶことはできた。

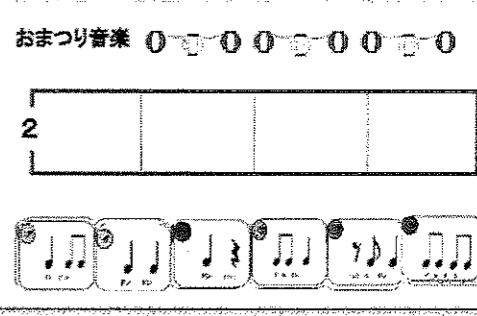
◆教科名・単元名・学年・使用台数

教科 : 音楽
 単元 : 6.くりかえしをみつけよう 『おまつりの音楽』
 学年(学級) : 第2学年
 使用台数 : 1人1台

◆授業内で使用した ICT ツール

ツール名 (カメラ機能、Google classroom など)	スライド、Google classroom、Google Jamboard
活用方法 (例)カメラの動画撮影機能を用いて、体育のマット運動の様子を撮影し、振り返りの際にグループで見直した。	教員 : ・音楽づくりに使うリズムやリズムの作り方の表示【スライド】 ・課題配布【classroom】 児童 : カードを動かしての音楽づくり。【Jamboard】

◆授業の実際

ICT 使用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容や教員の提示内容の明確化【スライド】 ・カードの入れ替え動作の簡易化【Jamboard】
必要な準備	<ul style="list-style-type: none"> ・スライドの作成 ・Jamboard の作成 (・classroom の作成) (・classroom へ参加させる) ・classroom にて、Jamboard をクラス全員に配布。 <p>※()の活動はこの単元以前に行っている。 ※2年生でタブレット PC を使用した単元は今回が初めてだったため、音楽室でのタブレット操作に慣れさせるねらいで、classroom を用いた課題配布や、Jamboard をつけた音符仕分けゲームなどをこの単元以前に行った。</p>
具体的な学習活動	<p>単元全体での学習活動 (全3時間) 『くりかえしをつかって音楽をつくろう』</p> <ul style="list-style-type: none"> ○和太鼓によるリズム打ちでおまつりの雰囲気を感じる。 ○使用リズムの提示、それぞれのリズムの確認。【スライド】 ○音楽づくりの内容・めあて提示。【スライド】 ○タブレット準備 ○カードを並べ、自分が作成したリズムをそれぞれ打ってみる。【Jamboard】 ○中間発表 ○タブレット PC を持ってグループで集まり、各々が作成したリズムを打ったり、グループ全員でリズムをつなげたりする。【Jamboard】 ○グループでつなげたリズムが、よりくりかえしを生かされたものになるよう、検討・工夫。【Jamboard】 ○グループでつなげたリズムの発表 <p>★Jamboard 使用法★ ・下に設置された可動式のカードをそれぞれの小節へ移動させ、リズムを作成。</p>  <p>↑実際に使用した Jamboard</p>
ICT を使用した効果	<ul style="list-style-type: none"> ・カードの移動がスムーズなため、短時間でさまざまなリズムを試すことができた。 ・学習意欲の向上。 ・タブレット PC で作ったリズムは大きくテレビにうつすことが可能なため、誰がどんなリズムをつくったか、クラス共有がスムーズに行えた。

◆教科名・単元名・学年・使用台数

教科 : 社会科
 単元 : わたしたちの暮らしとスーパーマーケット
 学年 (学級) : 3年
 使用台数 : 教師1台

◆授業内で使用した ICT ツール

ツール名 (カメラ機能、Google classroom など)	Google Jamboard
活用方法 (例)カメラの動画撮影機能を用いて、体育のマット運動の様子を撮影し、振り返りの際にグループで見直した。	Jamboard に児童から出された意見を記入し、クラス全体で確認した。

◆授業の実際

ICT 使用のねらい	児童から出された意見を、色分けやグループ分けをすることにより、見やすくまとめる。
必要な準備	Jamboard を開く。事前準備は特に必要ない。
具体的な学習活動	<p>○児童からスーパーマーケットの工夫について、気付いたことについて意見を発表させる。 ○Jamboard を教室の大型モニターに映し、クラス全体で見られるようにする。 ○教師は発言を聞きながら、意見をジャムボードに記入する。 ○必要に応じて色分けやグループ分けを行い、出された意見を見やすくまとめる。 ○ペン機能やテキスト機能を使い、グループに名称をつけてわかりやすくする。</p>
ICT を使用した効果	<p>○板書せず、直接 Chromebook に記入したことで時間の短縮になる。 ○必要な箇所を拡大することができるので、視覚的にわかりやすい。 ○発言の順序に関わらず、あとから意見のグループ分けができる。 ○色分けやグループ分けをすることで、意見がわかりやすくなる。 ○次時に授業の続きを行いたいときに、板書がなくてもすぐに Jamboard を提示することができる。</p>

◆教科名・単元名・学年・使用台数

教科 : 算数
 単元 : 合同
 学年 (学級) : 算数少人数 10人
 使用台数 : 1人1台

◆授業内で使用した ICT ツール

ツール名 (カメラ機能、Google classroom など)	まなびポケット schoolTakt
活用方法 (例)カメラの動画撮影機能を用いて、体育のマット運動の様子を撮影し、振り返りの際にグループで見直した。	合同な図形の、対応する辺、対応する角、対応する頂点を調べる際に、実際に図形を重ねたり、回転させたり、ずらしたりしながら見付ける。

◆授業の実際

ICT 使用のねらい	図形を重ねる、回転させる、裏返す、ずらすなどの具体的作業を通して、対応する辺、対応する角、対応する頂点を探することができる。
必要な準備	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末 ・schoolTakt 必要なワークシート
具体的な学習活動	<p>・schoolTakt の特徴を生かし、学習進捗状況や課題配布状況など、児童のアクションをタイムラグなく把握し、個別学習に対応した課題テンプレートを活用する。</p> <p>・合同な図形の対応する辺や対応する角、対応する頂点を調べるために、図形を重ねる、回転させる、裏返す、ずらすなどの具体的作業を通して、対応する辺、対応する角、対応する頂点を見付けることができる。</p>
ICT を使用した効果	具体的操作によって、対応する辺や、角、頂点を探ことができ、意欲的に取り組んでいた。

◆教科名・単元名・学年・使用台数

教科 : 算数
 単元 : 小数のわり算
 学年(学級): 5年
 使用台数 : 1人1台

◆授業内で使用した ICT ツール

ツール名 (カメラ機能、Google classroom など)	スプレッドシート
活用方法 (例)カメラの動画撮影機能を用いて、 体育のマット運動の様子を撮影し、振 返りの際にグループで見直した。	学習感想を毎時間書き込む。

◆授業の実際

ICT 使用のねらい	毎時間の学習感想を振り返りながら、単元全体を振り返ることができる。
必要な準備	スプレッドシートに全時間・全員分の枠を作成する。
具体的な学習活動	<ul style="list-style-type: none"> ・学習感想を毎時間書き込む。 ・友達の書いたものを見ることが出来る。 ・単元のまとめの時間に、今まで書き込んだものを見返し、単元の振り返りを行う。
ICT を使用した効果	

◆教科名・単元名・学年・使用台数

教科 : 国語
 単元 : 時計の時間と心の時間
 学年(学級): 6-1
 使用台数 : (1人1台や、グループでの使用など) 1人1台

◆授業内で使用した ICT ツール

ツール名 (カメラ機能、Google classroom など)	Google Jamboard [®]
活用方法 (例)カメラの動画撮影機能を用いて、 体育のマット運動の様子を撮影し、振 返りの際にグループで見直した。	文章の構成を考えるために、段落ごとのまとまりを考え、考えた構成を Jamboard 上に構成図として表した。

◆授業の実際

ICT 使用のねらい	鉛筆で書き消しゴムで消すという作業をなくすことで、考えたことをすぐにボード上に反映できるよ うにするため。
必要な準備	Jamboard に付箋で、段落の数字を作っておく。
具体的な学習活動	<ol style="list-style-type: none"> ① 各段落がはじめ、なか、おわりのどこに属するか考え、色分けをして付箋 を作る。 ② 教科書の文章を確認しながら、構成図を作成する。 ③ グループで確認する。 ④ 全体に作った構成図を見せながら、説明する。
ICT を使用した効果	色分けをしたことで、段落ごとのまとまりを考えやすくなった。 ボード上で段落の数字を動かし、構成図を作っていくことで、児童にとって作業しやすい活動となった。

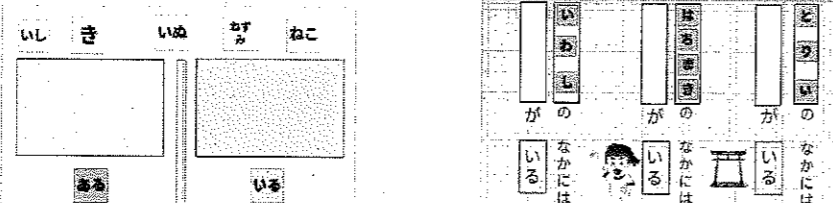

◆教科名・単元名・学年・使用台数

教科 : 国語
 単元 : ことばをみつけよう
 学年(学級): 1年
 使用台数 : 1人1台

◆授業内で使用した ICT ツール

ツール名 (カメラ機能、Google classroom など)	Google Classroom、Google Jamboard
活用方法 (例)カメラの動画撮影機能を用いて、 体育のマット運動の様子を撮影し、振 返りの際にグループで見直した。	Google Jamboard の付箋機能を用いて、教材を作成し、それをワ ークシートとして活用しながら授業を行った。

◆授業の実際

ICT 使用のねらい	Jamboard をワークシートとして活用することで、何度も試行錯誤をしながら言葉の仲間分 けや言葉探しができる。
必要な準備	・ Jamboard で付箋を用いたワークシートを作成し、Classroom に貼り付けておく。 ・ 事前にタブレットの約束・基本的な操作方法、Classroom の開き方、Jamboard の使い方を指導 し、操作に慣れておく。
具体的な学習活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「□がある」「□がある」の□に入る言葉をそれぞれ仲間分けする。 Jamboard で事前に作成したワークシートを活用する。 ・ 「…のなかには、□がある。」「…のなかには、□がある。」の□に入る言葉を考える。 Jamboard で事前に作成したワークシートを活用する。 ・ 言葉が隠れたクイズをつくる。 Jamboard を活用してクイズを作成する。 ・ クイズ大会をする。 Jamboard で作成したクイズを全員で共有し、クイズを出し合って発表する。 
ICT を使用した効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ タブレットを用いることで、意欲的に学習に取り組むことができた。 ・ Jamboard を活用することで、考えを変えたいときや間違えたときも容易に直すことができ るため、直すことへのハードルが低くなり、取り組みやすくなった。 

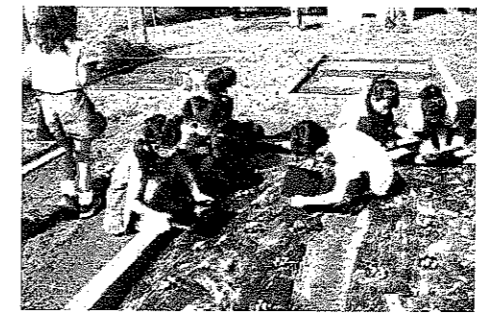

◆教科名・単元名・学年・使用台数

教科 : 生活科
 単元 : ちいきとつながわたしたちのやさいばたけ
 学年(学級): 2年
 使用台数 : 1人1台の使用

◆授業内で使用した ICT ツール

ツール名 (カメラ機能、Google classroom など)	カメラ機能・スライド機能
活用方法 (例)カメラの動画撮影機能を用いて、 体育のマット運動の様子を撮影し、振 返りの際にグループで見直した。	<ul style="list-style-type: none"> ・ カメラの撮影機能を用いて、大根の成長過程を観察し、観察日記の作 成に使用した。また、大根の成長過程を比較し、学習内容を振り返る活 動を行う見込み。 ・ 大根の成長過程を写真等用いて、スライドにまとめ発表を行う見込 み。

◆授業の実際

ICT 使用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 植物を観察する際に写真を撮影することで、振り返りの時間の際に写真を使うことで当時の大根の 成長具合を思い返し、比較させる。 ・ スケッチが苦手な児童や、長時間の集中が難しい児童に対し、撮影した情報を維持することができ る写真を用いることで、学習意欲を損なうことなく、観察を行えるようにする。
必要な準備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童がカメラによる撮影ができるように事前に指導を行う。 ・ カメラ撮影では、被写体との距離や場所が異なるため、写真内に大きさを比較できるものを用意して 写真撮影を行う。 ・ 観察日記を書く際にうまく書くことができない児童には、書き出しの一文を例示するなどの工夫を行 う。
具体的な学習活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大根の種を植えた後に、植えた種と 1cm 方眼用紙を並べて種の大きさを測り ながら写真を撮影を行った。 ・ 撮影した写真を用いて観察を行い、観察日記を作成した。 ・ 双葉や新芽が発芽をした際にも写真撮影した他、今後も大根の成 長過程に合わせて適宜、写真による撮影を行い、観察日記を作成する 見込み。 ・ 撮影した写真を用いて観察の振り返りを行う。 ・ 大根を収穫後、今までの大根の成長過程を写真や、「大きさ」「色」 「特徴」等をまとめた文章を用いて、スライドにまとめ、発表する 活動を行う見込み。  
ICT を使用した効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在みられる効果としては、集中力を持続させるのが難しい児童や、関心を向けるのが難しい児童に 対し、写真を用いた観察も行うことで、時間の制限がない状態で観察を行うことができた。 ・ 今後見込める効果としては、 ①写真を用いることで成長過程の比較を容易に行うことができ、学習の振り返りを行うことができる。 ②自らの大根の成長の様子を発表する際にスライドを用いることで、わかりやすい発表方法を考えさせ、主体的 に学習に取り組む態度を育ませることができる。 の二点があげられる。

◆教科名・単元名・学年・使用台数

教科 : 国語
 単元 : ごんぎつね
 学年(学級) : 4年(4年1組)
 使用台数 : 1人1台

◆授業内で使用した ICT ツール

ツール名 (カメラ機能、Google classroom など)	Google スライド
活用方法 (例)カメラの動画撮影機能を用いて、 体育のマット運動の様子を撮影し、振 返りの際にグループで見直した。	場面ごとに辞書を作成させ、意味の分からない語句の確認を視覚化し た。

◆授業の実際

ICT 使用のねらい	意味調べを家庭学習で取り組ませることで、少ない時間での語句の確認で済ませるため。 視覚化することで情景描写をより細かく捉えさせるため。																
必要な準備	Google スライドにてフォーマットの作成。 Classroom にてフォーマットの配布。 スライドの使用方法についての指導。																
具体的な学習活動	タブレットを使って調べる方法について理解する。 「○○とは」「○○意味」などの検索ワードの確認をする。 教師の範読中に意味の分からない語句にサイドラインを引く。 場面ごとにスライドを分け、場面の導入時5分程度で意味の確認を行う。 情景描写が思い浮かびにくいものについては、写真を確認することで、 どのような情景であるかの確認を行う。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th colspan="2">「ごんぎつね」辞書</th> <th colspan="2">第一場面</th> </tr> <tr> <td>すすき</td> <td>秋の七草の一つ</td> <td>そうれつ</td> <td>福地まで遠体を選ぶ列</td> </tr> <tr> <td>はぎ</td> <td>マメ科。秋の花。秋の七草の一つ。</td> <td>彼岸花</td> <td>墓場や堤防などの日当たりの良い場 所に生える花。</td> </tr> <tr> <td>びく</td> <td>とった魚を入れておく器。</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	「ごんぎつね」辞書		第一場面		すすき	秋の七草の一つ	そうれつ	福地まで遠体を選ぶ列	はぎ	マメ科。秋の花。秋の七草の一つ。	彼岸花	墓場や堤防などの日当たりの良い場 所に生える花。	びく	とった魚を入れておく器。		
「ごんぎつね」辞書		第一場面															
すすき	秋の七草の一つ	そうれつ	福地まで遠体を選ぶ列														
はぎ	マメ科。秋の花。秋の七草の一つ。	彼岸花	墓場や堤防などの日当たりの良い場 所に生える花。														
びく	とった魚を入れておく器。																
ICT を使用した効果	長い物語文での語句確認を短い時間で行える。 視覚化することで情景を捉えやすくなる。 スライドの活用方法を理解することができる。 コピーペーストなどの基本機能を活用できるようになる。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th colspan="2">「ごんぎつね」図鑑</th> <th colspan="2">「ごんぎつね」図鑑</th> </tr> <tr> <td>すすき</td> <td>はぎ</td> <td>そうれつ</td> <td>彼岸花</td> </tr> </table>	「ごんぎつね」図鑑		「ごんぎつね」図鑑		すすき	はぎ	そうれつ	彼岸花								
「ごんぎつね」図鑑		「ごんぎつね」図鑑															
すすき	はぎ	そうれつ	彼岸花														

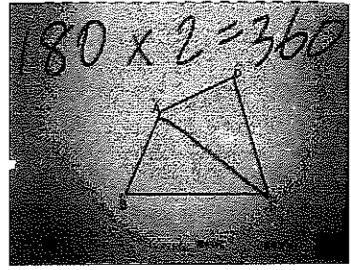
◆教科名・単元名・学年・使用台数

教科 : 算数
 単元 : 図形の角
 学年(学級) : 5年
 使用台数 : 1人1台

◆授業内で使用した ICT ツール

ツール名 (カメラ機能、Google classroom など)	新しい算数デジタルコンテンツ
活用方法 (例)カメラの動画撮影機能を用いて、 体育のマット運動の様子を撮影し、振 返りの際にグループで見直した。	四角形の4つの角の大きさの和の求め方を図や式で考える際 に、タブレットに書き込むことにたくさんの考え方をすることが できる。

◆授業の実際

ICT 使用のねらい	自由に図形に線や点、式などの考えたものを書き込み、説明することができる。 ノートにはうまく書くことができない児童でも、線や点を書き込むことができるコンテ ンツを使って考えやすくなる。
必要な準備	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 ノート タブレット 教師用タブレット ノート用図形
具体的な学習活動	<ul style="list-style-type: none"> ◎考える 四角形の4つの角の大きさの和の求め方を考える。 図形に線や点、式を使って説明する。 一つ考えることができた児童には、2つ3つと考えていいことにする。 ◎発表 自分の考えた求め方を説明する。 教師用タブレットで児童の考えたものをテレビに映す その後、自分が一番解きやすい方法をノートに残す。 ◎まとめる ◎適応問題を解く 
ICT を使用した効果	文字を入力せず、書き込むという操作は問題なくできた。 デジタルコンテンツを使った方がよい場面と、ノートに書き込む方法がよいかの判断を つけて授業に取り入れることが必要であると感じた。 今回の授業では、ノートに書き込む方法で行った方がより良い学びになったと感じた。 いくつかの求め方を考えることができたにも関わらず、ノートに残すことができるもの は一つや二つだからだ。児童の実態によって、デジタルコンテンツを使用するかしない かを決める必要がある。

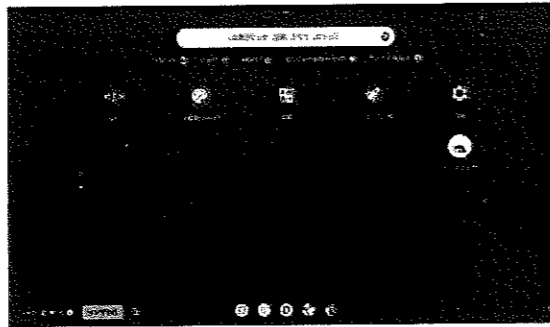
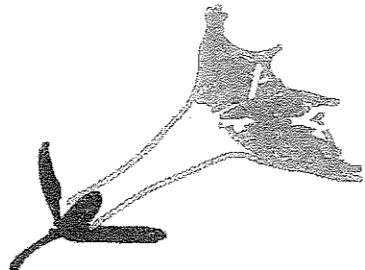
◆教科名・単元名・学年・使用台数

教科 : 生活科
 単元 : わたしのあさがお
 学年(学級): 1年
 使用台数 : 1人1台

◆授業内で使用した ICT ツール

ツール名 (カメラ機能、Google classroom など)	描画アプリ
活用方法 (例)カメラの動画撮影機能を用いて、 体育のマット運動の様子を撮影し、振 返りの際にグループで見直した。	児童が描画アプリを用いて絵を描いた。水彩絵の具の色など、様々な 種類や太さ・色のペンを使って、楽しみながら活動した。

◆授業の実際

ICT 使用のねらい	Chromebook の操作に慣れる。 Chromebook に描画アプリがあることを知り、使い方の大体を知る。
必要な準備	特になし
具体的な学習活動	<p>①Chromebook の描画アプリを開く。</p>  <p>②いろいろな種類のペンがあることを確認する。</p> <p>③絵を描く。</p> 
ICT を使用した効果	<ul style="list-style-type: none"> 簡単に消して描き直すことができるので、児童が思い切り絵を描くことができた。 たくさんの種類のペンがあるので、これまでクレパスと絵の具のみで絵を描いていた児童にとって表現の幅が広がり、楽しそうに絵を描いていた。 色を自由に作ることができるので、児童の思い描く通りの色を使って絵を描くことができた。



◆教科名・単元名・学年・使用台数

教科 : 図画工作
 単元 : ミリーのすてきなぼうし
 学年(学級): 2年
 使用台数 : 1人1台

◆授業内で使用した ICT ツール

ツール名 (カメラ機能、Google classroom など)	カメラ機能
活用方法 (例)カメラの動画撮影機能を用いて、 体育のマット運動の様子を撮影し、振 返りの際にグループで見直した。	カメラ機能で自分の写真を撮影して、その画像を見ながら自画像を描いた。

◆授業の実際

ICT 使用のねらい	カメラ機能を使用して写真を撮り、その画像を活用して自画像を描く。
必要な準備	特になし
具体的な学習活動	<p>① Chromebook のカメラ機能で、自分の写真を撮る。</p>  <p>② 撮った写真を表示し、それを見ながら自画像を描く。</p> 
ICT を使用した効果	<ul style="list-style-type: none"> 鏡を見ながら描くとマスクをずっと外さなければならないが、Chromebook のカメラ機能を使用したことで、マスクを外す時間が短時間で済んだ。 静止している大きな画像なので、描きやすかった。 写真を撮って印刷するよりも、手間とコストを削減できた。 